

第七十六回帝國議會
衆議院

治安維持法改正法律案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
治安維持法改正法律案(政府提出)
(第六二號)

會議

昭和十六年二月十五日(土曜日)午前十時三十分分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 英明君

理事泉 國三郎君 理事眞鍋 勝君

理事世耕 弘一君

江原 三郎君

田村 秀吉君

中野 寅吉君

濱野徹太郎君

藤田 若水君

三田村武夫君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 柳川 平助君

出席政府委員左ノ如シ

內務省警保局長 橋本 清吉君

內務事務官 村田 五郎君

陸軍少將 田中 隆吉君

陸軍省法務局長 大山 文雄君

海軍省法務局長 潮見 茂樹君

司法省刑事局長 秋山 要君

司法省行刑局長 金澤 次郎君

司法書記官 大竹武七郎君

司法書記官 太田 耐造君

朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君

臺灣總督府總務長官 齋藤 樹君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

治安維持法改正法律案(政府提出)

○服部委員長 是ヨリ開會致シマス

○世耕委員 議事進行ニ付テ……昨日總理

ノ病狀ニ付テ御尋ネシテ戴クヤウニ、委員長ニ御願ヒシテ置キマシタガ、新聞ノ様子ニ依ルトニ、三ノ人ニ、荻外莊デ會見シテ居ル所ヲ見ルト、大シタ病狀デナイヤウニ、私ハ推察スルノデアリマスガ、ドウ云フ風ナ病狀デアるか、新聞ノ記事ニ依ルト、四、五日ノ間ニハ登院出來ルカノヤウニ書イテ居リマスガ、果シテソレガ眞相デアるかドウカ、御調べ下サイマシタデセウカ

○服部委員長 調べマシタ、御答ヘ致シマス、委員長ハ昨日書記官長ニ面會シマシテ、病狀及ビ大凡幾日頃ニ登院出來ルカト云フコトヲ質問致シマシタ、書記官長ノ言フ

ノニハ、午前中ハ平熱ニナルケレドモ、午後極ク微熱ガ出ルノデアリマシテ、今日ノ病狀デハ、數日間マダ登院ガ出來兼ネル見込アルト云フ答ヘデアリマシタカラ、數日間デハ一寸ハツキリシナイカラ、日ニチ

ヲ一ツハツキリト云ウテ貰ヒタイト申シマシタラ、來週一杯即チ二十三、四日マデハ登院ガ出來ナイト思ヒマス、斯ウ云フ御答ヘデアリマシタカラ、右御報告ヲ致シマス

○世耕委員 私ハ甚ダ不都合ダと思フノデアリマス、重態デアリ、面會謝絶ナライザ

知ラズ、數名ノ政客ヲ引見シテ居ルノデス、時局ガ重大デアル、身命ヲ賭シテ御奉公ス

ルト云フコトヲ、豫算總會其ノ他ニ於テ、總理大臣ハ聲明ナサレテ居ル、微熱位デ數

名ノ御客ヲ引見スルダケノ體力デアルナラバ、當議事堂ニハ病室モアルノデス、私ハ

「ベッド」ノ上デ指揮スル位ノ熱意ヲ、何故

持タスカト言ヒタイ、昨日申上ゲマシタ如クニ、戰場ノ勇士ハ不幸敵彈ニ倒レテ重傷ヲ負ヒナガラモ、擔架ニ乗ツテ國軍ヲ指揮シタ例ガ幾ラモアルデアリマセヌカ、時

局重大デアリ、而モ對外關係ハ緊迫シテ居ルト云フコトヲ言ウテ居ル、ソレヲ微熱位デ引込デ、十日モ數週間モ議場ニ額ヲ出サ

スト云フコトハ、私ハ不都合千萬ダと思ヒマス、叱ツテ見タ所デ仕方アリマセヌケ

レドモ、私ハ其ノ熱意ヲ疑フ、世間デハ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルデアリマセヌ

カ、大體難カシイ問題ガアルト、總理ハ病氣ト云ツテ引込シテグズル癖ガアル、前内閣ノ時モサウ云フコトガ世間ニ流布サレタ

ノデアリマス、私ハ今日サウ云フヤウナ世間ノ批評ヲ總理ノ上ニ與ヘタクナイ、總理ハ高熱ヲ押シテ、而モ「ベッド」ノ上デ全部

下ヲ指揮シテ居ルト云フ氣持ヲ、私ハ形ノ上デ現ハシテ貰ヒタイ、ソレガ國民一億一

心ノ臣道實踐ノ、最モ生キ手本ヲ示スモノダト私ハ思フノデアリマス、私ハ此ノ點

ニ付テ、實ハ總理ノ熱意ノ足りナイコトヲ遺憾ニ思フ、現ニ私モ藥ヲ幾種類モ持ツテ

議場ニ臨ンデ居リマス、私ノ友人デアアル福

井甚三君ノ如キハ、帝大病院ニ入院シテ其

處カラ通ツテ居リマス、サウ云フヤウニ議

員自身ガ非常ナ熱意ヲ持ツテ、眞劍ナ氣持

デ此ノ議場ニ臨ンデ居ルニモ拘ラズ、微熱

ガ取レナイカラ出ラレナイ言フ、ソレハ

何時取レルカ分リハシマセヌヨ、大體總理

ノカドウカト云フコトヲ私ハ疑フ、今更斯ウ云フコトヲ大キナ聲デ怒鳴リ上ゲテモ仕様ガナイガ、尙ホ念ノ爲ニ私ハ書記官長ヲ煩ハシテ此處ニ來テ貰ツテ、モウ少シ病狀ヲハツキリ聽カシテ戴キタイと思フ、此ノ趣旨ヲ體シテ、洵ニ恐入リマスガ、モウ一遍書記官長ト御會ヒ下サルコトハ出來マセ

ヌデセウカ、同僚ノ中ニハ總理大臣ニ是非質問シナクテハナラヌト云フ者モ、尙ホ殘

ツテ居ル管デアリマス、御迷惑デゴザイマセウガ、モウ一遍書記官長ニ御相談下サル

コトヲ御取計ヒ願ヒタイと思ヒマス、是ハ懇願デゴザイマス

○服部委員長 委員長ハ、世耕君ノ只今ノ御希望ニ對シテ御答ヘ申シマスガ、世耕君ノ趣旨ヲ體シマシテ、尙ホ懇ロニ交渉ヲ致

シマシテ、御返事ヲ致シマス

○猪野毛委員 ヤハリ議事進行ノ、世耕君ノ御言葉ニ關聯ヲ致シテ居ルノデアリマス

ガ、委員長ガ唯病狀ヲ聽イテ、此處ニ報告スルダケデハ物足りナイ、委員會ノ空氣ハ

斯ウデアツタ、又議事ノ進行ノ上ニ於テ、總理ガ出テ來ナケレバ、或ハ本委員會ハ終

リテ告ゲルコトガ出來ヌカモ分ラヌ、斯ウ云フ主觀的ナコトモ混ヘテ言ハナクテハ、

病狀ヲ伺フダケノコトデハ物足りナイ、デアリマスカラ、今度御會ヒニナル時ニハ、書

記官長ヲ此處ニ連レテ來ラレテ、サウシテ

委員長ノ口ヲ通ジテ聽イタノデナクシテ、

直接ニ——變壓シタ言方デハ駄目デ、直流

ヲ吾々ニ御聽カセテ願ヒタイ、ソレデ成程

第六類第十九號 治安維持法改正法律案委員會會議錄 第五回 昭和十六年二月十五日

四一

ト思ヘバ、吾々モ情ニ於テ大イニ察スル、ケレドモ事國務デアリマスガ故ニ、又中々近衛サンハ狡イト云フコトモ、世間一般ノ評判ニナツテ居ルカラ、翼賛會ニ關スル豫算委員會ノ進行ノ關係ノ爲ノ病氣ノ強弱ト云フヤウナコトニナツテ居ルノデハ、尙更ソコニ微妙ナルモノガアルト考ヘラレル、ソレ故ニ委員長ニ於キマシテハ、其ノ點ヲ一ツツツカリ書記官長ニ話ヲシテ載キタイ、私共ノ考ヘデハ、重大ナ國體變革ノ問題ニ關スル法案ニ今遭遇シテ居ルノデアリマスガ、一國ノ總理大臣其ノモノノ思想ニ付テ疑惑ヲ持ツテ居ル者ガ多ナル、一國ノ總理大臣ガ河上博士ノ如キ國體變革思想ノ洗禮ヲ若イ時カラ受ケテ、之ニ非常ナル尊敬ト崇拜ノ念ヲ持ツテ居ツタ方ニ對シテハ、保衛者デハナイカト云フコトヲ、ヤハリ憂ヘテ居ル者ガアル、其ノ後直接國政ニ當ラレテ、或ハ、陛下ノ側近ニ度々侍ツテ、轉向サレタト云ヘバ變ラレタノデアラウケレドモ、國民ノ杞憂ハ此處ニ在ル、況ヤ其ノ後ノヤリ方ヲ見ルト總理大臣ハ今日問題ニナツテ居ル翼賛會ノヤハリ總裁デス、發案者デアリマス、此ノ翼賛會ノ内部ヲ見ルト、思想上不健全ナル幹部ガ、大多數ヲ以テ其ノ要局ニ當ツテ居ル、現ニ治安維持法ニ引掛ラナケレバナラスヤウナ人間モ、其ノ宣傳部長トシテ出テ居ル、斯ウ云フコトニナレバ、上意下達ノ役ヲ勤メル翼賛會ノ宣傳部長、赤ノ思想ノ宣傳下ニナルノデハナイカト云フヤウナ心配ヲ持ツ者モアル、單ニ杞憂トシテ過眼視スルコトハ出來ヌト思ハレマス、斯ル點ニマデ國體擁護ニ付テ、國民ハ眞劍ナル注意ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ故ニ、此ノ點一ツ委員長ニ於キマシ

テモ、篤ト深刻ニ書記官長ニ御話ヲ願ヒタイト思フ、吳々モ申シテ置キマスガ、此ノ法案ハ十八、九日頃マデニ仕上ゲタイト云フヤウナ希望ガ多クアリマスケレドモ、吾ハ之ニ付テ一國ノ宰相ノ信念、思想ノ狀態ヲ確メルマデハ、輕々ニ之ヲ通過サシテモ、却テ此ノ痛ガ後ニ殘ツテ、國民ノ疑惑ガ解ケナイト思フ、此ノ機會ニ斯ウ云フ誤解ヲ一掃シテ、サウシテ本當ニ思想國防ノ實ヲ全ウシタイト存ジマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス

○服部委員長 委員長ヨリ申上ゲマス、昨日書記官長ニ面會シテ御尋ネシマシタ際ニ、斯ウ云フコトヲ申添ヘテ置イタノデアリマス、是非總理大臣ニ質問ヲシテ意見ヲ伺ヒタイト云フ希望ノ切ナルモノガアルカラ、總理大臣ガ出席セラレマセヌト、或ハ進行上支障ヲ來スカモ知レヌカラト云フコトヲ添ヘマシテ、病狀ヲ聽イタノデアリマス、其ノ點ヲ先程報告シマセヌデシタガ、併シ只今猪野毛君ノ熱心ナル御主張ハ、全部能ク私體シマシテ、嚴重ナル交渉ヲ致シマシテ、御報告致シマス

○世耕委員 今猪野毛サンカラ御話ガアリマシタガ、書記官長ガ此處ニ來テ説明シテ呉レマスカ、ソレトモ委員長カラ報告シテ戴キマスカ

○服部委員長 委員長ハ成ベク書記官長ニ出席ヲ求メテ、直接答ヘテ貰フヤウニ取計ヒタイト思ヒマス——ソレデハ是ヨリ祕密會ニ入りマス、委員ノ方及ビ政府委員ノ方以外ハ御退場ヲ願ヒマス

〔午前十時五十分祕密會ニ入ル〕
午後二時四十分開議
〔午後二時四十分祕密會ヲ終ル〕

○服部委員長 此ノ際委員長ハ各委員ニ御願ヒヲ申上ゲマス、先般委員各位ノ御要求ニ依リ、政府ヨリ提出セラレマシタ參考資料ハ、何レモ官廳祕ゴザイマスガ、是ガ外部ニ傳ハリマスコトハ、各方面ニ種々ナル支障ヲ來シマスノデ、委員各位ニ於カレマシテハ、何卒十分ノ御注意ヲ下サイマシヤウ、是ハ蛇足ト思ヒマスガ、念ノ爲メ一言委員長ヨリ御願ヒヲ致シテ置キマス、尙ホ此ノ際申上ゲマスガ、總理大臣ノ出席ニ付テデアリマス、委員長ハ先刻書記官長ト交渉ヲ致シマシタガ、書記官長ノ申サレルニハ、昨日申上ゲマシタヤウニ、ドウシテモ午後ニ微熱ガ出テ「ベッド」ニ寢ニ中デアリマス、昨日前田君ト會見シタノモノ、ヤハリ寢床ノ中デ御目ニ掛ツタヤウナ譯デアリマシテ、風邪デアリマスルカラ外ヘ出ニクイノデアリマス、ヤハリ來週一パイハ登院ガ出來ナイモノト見透シヲ付ケテ居リマスカラ、是ハ自分ガ罷出テ申上グベキコトデア

ルガ、委員長ヨリ篤ト斯様ニ御取次ヲ願ヒマス、斯ウ云フ御話デゴザイマシタカラ、御諒承アラソコトヲ御願ヒ致シマス

○一松委員 サウ致シマス、首相ハ來週ハ御出席ガ出來ナイト云フコトデスカ、快クナレバ來週デモ……

○服部委員長 サウデス、私、日ニチヲ聞イタノデス、來週ハ何日マデト言ツタラ、來週一パイト云フコトデシタカラ……

○一松委員 出來ナイノデスカ、出來ルカモ分ラヌノデスカ

○服部委員長 今ノ見透シハ、出來ナイト思フ、斯ウ云フノデス、出來レバ無論出席登院サレデセウ

○一松委員 分リマシタ

○服部委員長 其ノ間ニ登院ノ出來ルヤウニナルデセウ、併シハ私ノ想像デアリマス——ソレデハ小山田君ノ質問ヲ此ノ際御願ヒシマス

○小山田委員 私ハ極メテ大キナ問題ニ對シテ一、二司法大臣ニ御伺ヒシタイノデアリマス、近來動モスレバ新體制ノ名ヲ藉リマシテ、非常ナ飛躍ノ言論ヲナス者ガアルノデアリマス、トモスレバ日本獨特ノ憲法ノ外ニ逸脫致シマシテ、唯無批判的ニ、或ハ「イタリア」ノ國家體制ヲ禮讀スルトカ、或ハ「ドイツ」ノ「ナチス」政治ノ直譯的ノ體系ヲ、採用セントスルガ如キ論議ノ横行ヲ見ルノデアリマス、是ハ所謂新體制便乘ノ、革新論者ノ中ニ多ク其ノ類ヲ見ルノデアリマシテ、此ノ傾向ニ對シマシテハ、吾々非常ニ心配致シテ居ルノデアリマス、固ヨリ「ドイツ」「イタリア」ノ政治體制ノ中ニ於キマシテモ、其ノ内包スル所ノ長ヲ採リ、或ハ短ヲ捨テテ、之ヲ憲法ノ許ス範圍内ニ於テ日本のニ純化シ、國家總力ノ發揮ニ資スル所アルニ於キマシテハ、決シテ之ヲ拒否スルモノデハナイノデアリマスガ、併シナガラ各國ノ其ノ國情、古イ傳統モ究メル所ナクシテ、唯表面單純ナル革新ノ名ニ陶醉シテ、戰時緊急ノ場合ナリト呼稱シ、憲法ノ條章ヲ故ラニ曲解シ、千古不磨ノ大典ニ盛ラレタル所ノ大精神ニ背反スルガ如キコトハ、是ハ斷ジテ許サルベキコトデハナイト、斯様ニ私ハ考ヘマス、此ノ憲法輕視ノ風ハ、世上ノ所謂革新論者バカリデハナイ

ノデアリマシテ、最近大學ノ教授、學者ノ中ニモ斯カル説ガ公然ト發表サレテ居ルノヲ見ルノデアリマス、何時ノ時代ニ於キマシテモ、時ノ權力ニ阿ネル所ノ、所謂御用學者ト云フ者ハアリマス、所謂曲學阿世ノ徒ハアルデアリマスガ、彼等ノ考ヘ方ノ方向ハ、大體ニ於テ斯ウデハナイクト思フ、現代ノ政治ハ、是ハ革新サレナケレバナライ、然ルニ帝國憲法ニ依ツテ拘束サレテ居リマシタノデハ、政治ノ革新ヲ斷行スルコトハ出來ナイノデアアル、併シ帝國憲法ノ改正ヲ實行スルト云フコトハ、是ハ中々容易ナコトデハナイ、ソレ故ニ帝國憲法ヲ政治ノ革新ヲ實行スルニ便利ナヤウニ、其ノ解釋ヲ變更シテ行クベキデアアル、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス、私考ヘマスルニ、一國ノ政治——日本ノ政治ト云フモノガ、如何ナル場合ニ於テモマシテモ、憲法ニ合スルヤウニサレナケレバナライト云フコトハ、是ハ申スマデモナイト思フ、其ノ時々ノ政治ノ實情ガ、不満足ナモノデアリマシテ、之ヲ革新シナケレバナライト致シマシテモ、憲法ヲ離レテ政治ノ革新ヲ考フルコトハ、吾々ハ出來ナイト思フノデアリマス、政治ノ革新ヲナス爲ニ便利ナヤウニ、帝國憲法ヲ解釋シテ行クト云フヤウナ態度、即チ帝國憲法ノ解釋ヲ、歐米各國ノ憲法ノヤウニ發展のニ動的ニ取扱フコトガ、果シテ是ガ許サルベキ事デアルカドウカ、是ハ帝國憲法ノ解釋ノ態度ニ關スル根本ノ問題デアリマスルカ、此ノ點ニ關スル司法大臣ノ御高説ヲ御伺ヒ致シテ置キタイト思フノデアリマス

ル餘リカ、外國ノ國家體制ヲ模倣セントスルヤウナ論者ガアリ、憲法ニ違反シタ意見ヲ述ベ、若シクハ憲法ノ解釋ヲ、本來ノ憲法デナク、其ノ人ノ持ツテ居ル政治意見ノヤウニ解釋シテ、ソレヲ以テ革新ト稱シテ居ルヤウナ者ガアルガ、斯ウ云フコトハ宜クナイト思フガ、之ニ對シテハドウ思フカト云フ御意見ハ、全ク御同感デゴザイマス、我が憲法ハ御存ジノ通りニ、明治ノ初メニ革新セラレタ結果ガ、國體ノ本ニ還ルヤウナ憲法ヲ定メラレタノデアリマスカラ、此ノ憲法ト違ツタコトヲ稱スル者ハ、ソレハ許スベカラザル者デアラウト存ジマス、政府トシテハ斯ノ如キコトハ勿論嚴重ニ取締ラナケレバナラスト存ズルノデアリマス、次ニ學者ガ又時ノ權勢ニ媚ビテ、色々曲學阿世ノ説ヲナス者ガアルトコトデゴザイマスガ、是亦宜シクナイノミナラズ、學者ノ地位ガ高ケレバ高イダケ、ソレダケ他ヲ迷ハス所ノ害惡ヲ流スノデアリマスカラ、斯ノ如キコトヲ取締リモシ、又斯ノ如キコトヲ豫防スルヤウニ、文部省、内務省等トモ能ク協議運籌致シマシテ、其ノ害ヲ未然ニ防ガヤウニ努力致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○小山田委員 只今ノ大臣ノ御答辯ニ依ツテ、大體ノ輪廓ハ了承致シマシタガ、實ハ私ハモット詳シク御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレハ日本ノ所謂欽定憲法ト云フモノニ對シテノ學者ノ説ト云フモノハ、是ハ學者ニ依ツテ色々デアリマセウガ、其ノ時々ノ政治ノ實情、是ガ不満足ナモノトシテ、之ヲ革新シナケレバナライト云フヤウナ、斯ウ云フ時代ノ轉換期ニ當ツテ、憲法ノ解釋ヲ發展のニ解釋シテ居ルト云フヤ

ウナ考ヘ方ハ、ドウデアアルカト云フコトニ付テノ御尋ネデアリマス、斯ウ云フコトハ帝國憲法ノ解釋ノ態度ニ關スル根本ノ問題デアリマスノデ、斯ウシタ憲法ノ解釋ノ仕方ト云フモノニ對シテハ、果シテ是ガ——單ナル學者ノ説トシテ、是ハ或ハ許サレルコトデアアルカモ知レマセウガ、斯ウ云フ時代ノ變換期ニ際シテ、斯ウシタ學者ガ新聞或ハ雜誌等ニ於テ發表スルト云フ場合ニハ、ソレガ色々方面ニ色々影響ヲ與ヘルコトニナリマスノデ、私ハサウシタ憲法ノ解釋ノ態度ト云フモノニ對シテハ、ドウカト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ今ハツキリシタ御答辯ヲ御願ヒ出來マシタラバ、甚ダ幸ヒト存ジマスガ、實ハ此ノ私ノ質問ハ司法大臣並ニ内務大臣ニ御伺ヒシタイト思ツタノデアリマスガ内務大臣ハ御出席ニナリマセヌノデ、若シモ御出席ニナツテ居リマス警保局長カラ御伺ヒ出來レバ是亦幸ヒト存ジマス

○柳川國務大臣 學者ガ發展の解釋ト稱シテ憲法ヲ歪曲シタル解釋ヲナサントスルノハ、固ヨリ宜シクナイト思ヒマスガ、ソレニ對シテハ又正シキ解釋ヲナス學者ガ、學説ヲ以テ之ニ反省ヲ促シテ行クヤウニナラナケレバナラスト思ヒマスガ、是ガ實際ノ世ノ中ニ實害ヲ及ボスニ至レバ、是ハドウシテモ取締ラナケレバナラスト思ヒマス、是ハ例ヲ舉ゲテ仰シヤリマセヌケレドモ、多分數年前カラアリマシタ國體明徴運動ノ起ツタ時アタリノ學説ガ、一時鎮マツテ居リマシタガ、又跋扈シテ來ル虞ニ對シテノ御質問デゴザイマセウガ、今小山田サンノ仰シヤルヤウナ、發展トカ何トカ云ツテ憲法ノ本來ノ意味ヲ歪曲シテ解釋スルガ如キコトハ、或ハ學術的ニ或ハ行政的ニ取締ツテ行カナケレバナラスト存ジテ居ル次第デアリマス

○橋本政府委員 只今司法大臣カラ御答辯ニナツタコトデ盡キテ居ルト存ジマスルガ、御名指シガアリマシタノデ、私共ノ方ノ仕事ノ關係、即チ行政取締ノ範圍内ニ於ケル觀點ヲ申上ゲタイト思ヒマス、私共ガ行政的措置ニ於キマシテ取締ヲ致シマスル其ノ要點ハ、申上ゲルマデモナク、安寧秩序ヲ紊亂スルト云フコトガ要點ニナツテ居ルノデゴザイマス、而シテ今御述べニナリマシタ所謂憲法ノ解釋ヲ曲解スル、歪曲スルト云フヤウナモノハ、只今申上ゲマシタ廣義ノ安寧秩序ヲ紊亂其ノ最モヒドイモノト存ゼラレルノデアリマス、斯様ナ觀點ニ於キマシテ、取締ハ嚴重ニヤラウト存ジテ居リマス、唯具體的ニ如何ナルモノガ如何ナルコトニナルカト云フ點ニ付キマシテハ、篤ト其ノ具體的ノ事情ヲ調査致シマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ根本方針ノ下ニ、嚴タル取締ヲ致シタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デゴザイマス

○猪野毛委員 一寸關聯シテ伺ヒタイ、大變重要ナ問題デアリマシタガ、是ハ例ヲ舉ゲテ一言デ盡ルコトガアリマスカラ、一寸伺ツテ置キマス、只今ノ御言葉ニ依リマシテ、政府ノ信念ト申シマセウカ、概念ダケハ私共ハ分リマシタガ、是ハ概念ダケデハイケナイ、ハツキリシタ所ノ茲ニ一ツノ説ガアツテ、此ノ説ノ爲ニ世間ガ紛淆スル、内亂罪マデモ起キ掛ツタト云フヤウナコトガアルノデス、即チ天皇機關説、此ノ天皇機關説ハ國體ノ本義ニ反スルヤ否ヤ、反スルトカ反シナイトカ、ハツキリシタ所

ノ明答ヲ得タイノデアリマス

○柳川國務大臣 天皇機關説ト仰シタルノハ、一例ト致シマシテハ、大審院ノ裁判ノ時ニ、天皇機關説ハ宜シクナイト云フコトヲ時ノ判事カラ述ベテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ場合ノ天皇機關説ダラウト思ヒマス、是ハ國體ニ違反スルコト明瞭デアルト存ズルノデゴザイマス

○猪野毛委員 如何ナル場合ニ於テモ天皇機關説ハ國體ノ本義ニ悖ル、如何ナル場合ニ於テモト云フ一ツノ強キ前提ヲ私ハ欲スルノデアリマス、是ガナイト學者ナドガ——彼等ハ非常ニ巧妙ニ頭ガ働キマスカラ、社會ヲ迷ハス處ガアル、内務省ニ於キマシテハ、天皇機關説ノ如キ著書ハ斷乎トシテ殲滅ヲ致ス所ノ決心ガアルカドウカ、ドウモアヤフヤノ憲法學説ノ本ガアツタリ、又大學ニ於ケル所ノ講義ガ非常ニアヤフヤデ、此ノ點ニ付テワザト講義ヲシナカツタリシテ居ル、此ノ點ハ文部大臣ニ御尋ネ致シタイト思ツテ居リマスガ、サウ云フ風デアラカラ、司法省ト内務省トニ於テ斷乎トシテ、天皇機關説ハ國體ノ本義ニ悖ルカラ承知相成ラスト云フハツキリシタ意思表示ヲシテ戴ケバ、非常ニ世ノ中ガ助カノデス、岡田内閣ノ時ニドウシテアア云フ問題ガ起キタカト云フト、吾々ハ幾度モ手ヲ變ヘ品ヲ替ヘシテ、岡田總理大臣ヲ初メ其ノ他ノ方方ニ、天皇機關説ハ國體ノ本義ニ悖ルト一言言ハサウト思ツテ、公ケノ席、或ハ私ノ席デヤツタノデアリマス、吾々ノ同僚ハ國體明徵委員會ヲ組織シテ、私モ其ノ一人デアリマシタガ、各省大臣ヲ訪問シテ、此ノ點ニ付テ反省ヲ促シマシタケレドモ、法制局長官ガ附イテ居ツテ、自分ノ著書ガ機關

説ノセイカ、兎ニ角總理ニハツキリシタコトヲ明言サセヌ、ソコデアノ時ノ議會ハ遂ニ此ノ問題ノ爲ニ政府ニ肉迫ヲスルト云フコトニナリ、此ノ爲ニ内閣ハ議會ニ向ツテ解散ヲ命ズル、ソレカラアラスカ、如何ナル關係ガアツタカ知ラヌケレドモ、二月二十日ノ選舉ニ與黨ガ大勝利ヲ得テ、二十六日ニハ二・二六事件ガ起キテ、遂ニ内閣ハ土崩瓦解ヲシタ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデス、斯ウ云フ次第デアリマシテ、今回ノ司法大臣、内務大臣ハ共ニ國體明徵ニ付テハ國民ノ信賴ガアル方デアル——是ハ眼ノ前デ申シテハ一寸ヲカシケレドモ、此ノ内閣ノ信用モ、此ノ御二人ノ入閣ニ依ツテ信用ガ付イタヤウナモノデスカラ、此ノ信用ノ付イタ

所ノ内閣ニシテ、内務省ト司法省トニ於テ、此ノ點ニ付テシツカリシタ所ノ明答ヲ與ヘナケレバ、是ハドウシテモイカナインデス、特ニ司法省ニ於キマシテハ、神兵隊事件ノ如キハ、何年モ掛ツテ何百回ノ公判ヲ開イテ居ル、此ノ長引イタ原因ハ何處ニアラカト云フト、天皇機關説ハ國體ノ本義ニ悖ルト云フコトヲ、裁判官モ檢察事モ愚圖々々シテハツキリ言ヒ切ラヌカラ、之ヲ被告ハ身命ヲ賭シテモ言ハサウト思ツテ、最後マデ頑張ツテ居タノデアリマセウ、最後ニ其ノ事ノ明答ガアツテ、被告ハ喜ンデ、如何ナル嚴罰デモ受ケル、斯ウ云フ決心ヲ致シタル次第デアルノデス、デスカラ此ノ事柄ニ付テハ、少シモ激ミナク、アレヤレヤ言ハズシテ、此ノ方針ニ依ツテ、内務大臣モ司法大臣モ、斷乎タル信念ヲハツキリ示シテ戴クコトガ、後日ノ爲ニ禍ヒヲ再び起サヌコトデアルト思ヒマス

○柳川國務大臣 明カニ答ヘヨト云フコト

デゴザイマスガ、天皇機關説ハ如何ナル場合ニ於テモ、國體ノ本義ニ悖ルモノト信ジマス

○小山田委員 「ドイツ」ノ所謂全體主義理論ト云フモノハ、我が國體トハ全然相容レナイモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論在來ノ自由主義的ナ、現狀維持的ナ考ヘ方ハ、是ハ革新サルベキモノデアルト、斯様ニ考ヘテハ居リマスガ、我が國ノ國情ニ合致シナイ、歴史ヲ顧ミナイ所ノ、所謂西洋流ノ理論ヲ、何等咀嚼モシナイ儘ニ採用セントスルガ如キ傾向ガ、近來極メテ顯著ニ現ハレテ參ツテ居ルノデアリマス、是ハ非常ナル危險千萬ナコトデアリマシテ、斯様ナ所謂新體制理論ナルモノハ、我が國體ノ本義ニ照シテ極力排撃スベキモノト、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、大臣竝ニ警保局長ノ之ニ對スル御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○柳川國務大臣 御存ジノ通りニ我が國ハ世界ニ冠絶スル國體デ、又全世界ニ例ノナク立派ナ欽定憲法ノ下ニ統治セラレテ居ル有難イ國家デゴザイマスカラ、外國ノ長所ガアレバ之ヲ採ツテ以テ用トナスコトハ宜シウゴザイマセウガ、外國ハ何レモ、私共ノ見マス所デハ、完全ナ國家トシテハ十分デナイト思ヒマスノデ、外國ノ其ノ儘ヲ模倣スルト云フコトハ、深く戒メナケレバナラスト思ヒマス、唯非常ニ偏狹ニ、外國ノコトハ皆イケナイト云フ風ニナリマス、却テ是ガ又我が國體本來ノ面目カラ自ラ轉落スルヤウニナルト思ヒマスノデ、廣イ雅量デ、外國ノモノデモ長所ハ入レルガ、我が本來ノ面目ヲ失ハナイヤウニ堅持シテ行

クコトガ必要デアラウト存ズルノデアリマス

○小山田委員 「ドイツ」ノ所謂全體主義理論ト云フモノハ、私大體ニ於テ國家社會主義的ナ行キ方ヲシテ居ルノダラウト考ヘテ居リマスガ、土地國有論トカ、產業奉還論トカ、最近言ハレルヤウナコトハ、是ハヤハリ全體主義理論ノ影響ヲ受ケタ一ツノ國家社會主義的ナ行キ方デアルト、斯様ニ考ヘル者デアリマス、斯ウ云フ考ヘ方ガ日本ニ漸次浸潤致シマシテ、立看板マデ立テラレテ居ルヤウナコトサヘモ見ルノデアリマスガ、此ノ國家社會主義的ナ行キ方ニ對スル取締ノ御方針ハ如何デアリマスカ、是ハ警保局長ニ御伺ヒ致シマス

○橋本政府委員 「ドイツ」ノ全體主義ガ果シテ國家主義ト社會主義ノ結合セラレタル國家社會主義ニ直チニナリマスカドウカト云フコトハ、或ハナルカモ知レマセヌシ、色々研究ノ餘地ガアルト思ヒマスガ、サウ云フ議論ニ行ク前ニ、全體主義ト云フモノハ我が國、即チ皇道主義ト違ツテ居ルト云フコトハ、ハツキリシテ居ルト思ヒマス、此ノ觀點ニ從ヒマシテ、全體主義思想ハ取締ヲヤツテ行カウト考ヘテ居リマス

○小山田委員 只今ノ警保局長ノ明快ナル御答辯ニ依ツテ了解致スコトガ出來マシタ、其ノ次ニ私ハ少シ言葉ノ問題ニ付テ——言葉ノ問題ト云フモノハ、極メテ末梢的ナコトト御考ヘニナルカモ知レマセヌガ、言葉ト云フモノハ、或ル場合ニ於キマシテハ非常ナ一ツノ興味ヲ持ツテ、ソレガ惡思想ノ胚胎ノ原因トナルト云フコトモアルノデアリマスカラ、此ノ言葉ノ問題ニ付テ一ツ御伺ヒ致シタイ、最近所謂新體制ノ時代ニ入リマシテカラ、色々新シイ言葉ガ使ハレテ

參ツテ居リマス、此ノ新シイ言葉ハ覺エ切
レナイ程澤山出來テ居ルヤウデアリマスガ、
其ノ中デ能ク使ハレテ居ル所ノ上意下達ト
云フ言葉デアリマス、又下意上達ト云フ言
葉ハ、大政翼贊會ヲ中心トシテ能ク出テ來ル
言葉デアリマスガ、私ハ此ノ言葉ヲ非常ニ
疑問ニ考ヘルノデアリマス、吾々日本國民
ノ通念カラ致シマスレバ、上意下達ノ上ト
云フコトハ、昔カラ 上御一人ニ對シ奉ツテ申
上ガル言葉デアアルノデアリマス、故ニ上意
ト云フコトハ、是ハ朝廷ノ御趣旨、或ハ
天子ノ思召、斯ウ云フコトヲ意味スルモノ
ト心得テ居ルノデアリマシテ、日本ノ臣民
ニ取ツテ上意ナル言葉ハ、是ハ絕對的な意
味ヲ有スルト同時ニ、道德的な感激ヲ覺
ユル尊イ言葉デアアルト、私ハ斯様ニ承知シテ
居リマス、然レニ大政翼贊會ヤ政府ガ、
國民ニ對シテ上意ト云フ言葉ニ依ツテ下
達ヲスル、又ハ上達サレル位置ニアルト云
フ觀念ハ、是ハドウモ穩當ヲ缺ク言葉
ヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯
ウ云フ言葉ガ使ハレマス爲ニ、大政翼贊
會ナルモノハ、幕府的存在デアアルカノヤ
ウナ考ヘヤ、誤解ヲ持タルヤウニナルノ
デアリマシテ、此ノ吾々ノ通念ニ合致シナイ
ヤウナ言葉ハ、成ベク是ハ避ケナケレバナ
ラナイ、斯ウ云フ新シイ言葉ノ使用ハ、非
常ニ魅力的デアル代リニ、反面誤解ヲ招キ
易イコトヲ考ヘマス時ニ、餘程御注意ニナ
ツテ然ルベキモノト考ヘルノデアリマス、
言葉ノ問題ハ末梢的なコトデ、ソナコト
ハドウデモ宜イデヤナイカト云フヤウナコ
トデアリマシテハ、ソコニ思ハザル惡思想
ノ胚胎スルコトガアリ得ルノデアリマスカ
ラ、取締ノ上カラモ、此ノ點一ツ御考慮ニ

ナツテ見テハ如何デアアルカト、斯様ニ思フ
ノデアリマスガ、警保局長ノ御考ヘヲ伺ヒ
マス

○田中政府委員 上意下達、下意上達ト云
フコトハ、軍隊デハ三十年前カラアリマス
ト云フコトダケ申上ゲテ置キマス

○橋本政府委員 私人記憶致シマス所デハ、
下意上達、下情上通ト云フ言葉ガ使ハレテ
居ルヤウデアリマス、只今マデニ使ハレテ
居ル言葉ノ點ニ付キマシテハ、警保局長ノ
身分ト致シマシテ、既ニ總理ガ説明サレテ
居リマスノデ、其ノ言葉ニ付キマシテ彼此
レ申スコトハ、遺憾ナガラ祿ヲ食ム私ノ身
ト致シマシテ申上ゲ兼ネル次第デアリマス、
唯一ツノ方針ト致シマシテハ、只今ノ言葉
ト離レマシテ、苟クモ日本國內ノ、全國的
ニ用ヒル言葉トシマシテハ、天下一人ト雖
モ疑義ヲ挟ム者ガナイヤウナ言葉ヲ用ヒル
コトガ、宜イダラウト云フ私ハ感ジヲ持
ツテ居リマス、併シナガラ冒頭申上ゲマシ
タヤウニ、具體的ノ言葉ニ付キマシテハ、
御遠慮申上ゲタイト思ヒマス、御諒承願ヒ
マス

○世耕委員 一寸ソレニ關聯シテ……、今
田中兵務局長カラ、軍隊ノ方デハ三十年前
カラヤツテ居ル、即チ上意下達ト云フ言葉
ヲ使ツテ居ルト云フ御話ガアツタノデアリ
マスガ、軍隊ハ上官下官ト云フ所カラ、區
別シテ居ルノダラウト思ヒマス、ソレニ
對シテ世間デハ別ニ異議ヲ挾ンデ居リマセ
ス、恐ラク小山田君ノ言ハレルコトハ、別
ノ意味ダト思ヒマス、昔カラ幕府ハ上意ト
云フ言葉ヲ使ツテ居リマス、ソレカラ宮中
カラ出ル言葉ハ御上意ト云ツテ他ト區別シ
テ居ルヤウデアリマス、併シナガラドウモ

近頃新シイ言葉ヲ使ツテ世間ヲ惱シテ居ル
コトガ多い、此ノ際一例ヲ申上ゲマス、
國防國家ナドト云フ言葉ハ非常ニ疑義ガア
ル、私ハ何時モ言フコトデアリマスガ、教
育勅語ノ中ニ「ヤン」ト書イテアル、「皇祖皇
宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深
厚ナリ」建國ノ精神ハ歴然タルモノデア
ル、國防國家ト云フ國家ハ一體何處カラ生
レテ來ルカ、日本ノ國體ハ一ツシカナイ筈デア
ル、所ガ近頃デハ國防國家カラ、經濟國家
ト云フコトヲ言出シテ、モウ雜誌ナドニモ
出テ居リマス、私ハ用語ニ付テ決シテコダ
ハル譯デアリマセスガ、實ニ不謹慎モ甚ダ
シイト思ヒマス、高度國防國家ナラ意味ヲ
ナスガ、國防國家トハ何デス、ソナ國家
ノ存在ハ日本ニハ許サレマセス、今警保局
長ノ蘊蓄アル御答辯ヲ承リマシタガ、サウ
云フヤウナ用語ハ餘程吟味シテ戴キタイ
ト思ヒマス

○猪野毛委員 一寸ソレニ關聯シテ……、
田中兵務局長ノ御言葉ノ中ニ、陸軍ニハ上
意下達ト云フ言葉ガアル、斯ウ云フ御話ガ
アツタノデアリマスガ、陸軍ハ御承知ノ通
リ、上官ノ命令ハ朕ガ命令ト心得ヨ、斯ウ
云フ御言葉ガアリマスカラ、其ノ意味ニ於
テノ上意下達デハアリマセヌカ、私ハ漫然
ト無暗ニ上意下達ト云フ言葉ヲ濫用スベキ
モノデハナイト思ヒマス、ケレドモ陸軍
トシテハ、上官ノ命令ハ朕ガ命令ト心得ヨ、
斯ウ云フ有難イ御言葉ガアリマスカラ、是
カラ私ハ使ハレルモノデハナイカト思フノデ
アリマス、サウシタナラバ此ノ眞似ヲ一般
ノ者ガ致シマシタリ、況ヤ翼贊會ノヤウナ、
政府カラ補助ヲ貰ハナケレバナラヌヤウナ、
社會主義ナドノ集ツテ居ルヤウナ團體ガ、

上意下達ト云フヤウナコトヲ言ツテ、翼贊
會ノ宣傳部員ナドガ此ノ間ノヤウナ共產主
義ノヤウナ演説ヲシテ、是ガ上意下達ダト
思ハレテハ、國民ノ信念ノ上ニ大變動搖ヲ
來シハセヌカト思フノデアリマス、ダカラ
陸軍ノ上意下達ダケハ特殊ノモノデア
ル、斯ウ私ハ一寸感ジタノデアリマスガ、如何
ナモノデアリマセウカ

○田中政府委員 陸軍デハ高度國防國家體
制ト云ツテ居リマス、國防國家デハ非常ナ
誤リデアアルコトハ御言葉ノ通りデアリマス、
ソレカラ今ノ上意下達デアリマスガ、陸軍
デハ今御話ノヤウニ、上官ノ命令ハ朕ガ命
令ト心得ヨ、ト云フ有難イ御言葉ガアリマ
スノデ、特ニ上意下達ノ反面ニ、下情ガ上
ニ通ズルコトヲ喧シク言ツテ、下ノ情況ヲ
能ク知ラナケレバナラス、ソレデ陸軍デハ
團結ヲ強化スル意味ニ於テ、上ノ命令ハ下
ニ能ク傳ヘヨ、下ノ情況ハ能ク上ガ知ラナ
ケレバナラス、サウ云フ意味ニ於テ上意下
達、下情上通、或ル人ハ下意上達ト云フ言
葉ヲ使ツテ居リマス、斯ウ云フ言葉ヲ盛ン
ニ使ヒマス、恐ラク此ノ言葉ハ吾々ハ團結
ヲ鞏固ニスル、上下一致シテ非常ニ強イ團
結ヲ作ルト云フ意味ニ於テ考ヘテ居リマス、
勿論其ノ本當ノ起リハ、今申サレマシタ御
勅諭ニ發スルモノト考ヘテ居リマス

○世耕委員 局長サンノ今ノ御話ハ、サウ
云フ解釋ナラバ必ズシモ私ハ反對デアリマ
セスガ、世間ハサウ云フコトヲ言フテ居ラ
ナイデス、非常ニ誤解ヲ招イテ居ル言葉ガ
發見サレルモノデスカラ御尋ネシタノデス
ガ、御急ギノヤウダカラ此ノ次デ結構デス

○小山田委員 今上意下達ノ上意ト云フ言
葉ノ問題ガ出テ、色々議論ガアリマシタガ、

モウ一ツ言葉ニ付テ私ハ御意見ヲ伺フテ見
タイノデアリマス、此ノ頃ヨク使ハレマス
所ノ減私奉公ト云フ言葉ガアリマス、此ノ
減私奉公ト云フ言葉ノ精神ハ、洵ニ結構ナ
コトニハ相違ナイノデアリマスガ、此ノ言
葉ノ持つ意味ハ、讀ンデ字ノ如ク所謂私ト
云フモノヲ認メナイ、私ヲ減ボシテ公ニ奉
ズルト云フノデアリマスガ、私ヲ減スル
云フコトハ、是ハヤハリ非常ニ誤解ヲ招キ
易イ言葉デハナイカト思フ、一々言葉ノ咎
メ立テヲ申ス譯デハアリマセヌケレドモ、
私ヲ否定スルト云フヤウナ意味ヲ持つ言葉
ヨリモ——私ヲ減シテ公ニ奉ズルト云フノ
ハ、ドツチカト云フト非常ニ理論ニ合ハナ
イ言葉デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、
斯ウ云フ言葉ヨリモ、私ヲ活カス、減私デ
ハナクテ活私、私ヲ活カシテ國ヲ強クスル、
活私強國、減私奉公ヨリモ活私強國、斯ウ
云フ行キ方デナケレバ、本當ノ日本人ラシ
イ活キタ國難ニ處スル固イ決意ト云フモ
ノガ、出テ來デイノデハナイカ、自分ヲ減
ボシテシマツテ公ニ奉ジテシマフト云フヤ
ウナ、サウ云フ消極的ナコトデハイカスト
思フ、自分ト云フモノヲ何處マデモ活カシ
テ行カナケレバナラス、サウシテソレヲ國
家ノ爲ニ役立テ、國家ヲ強クスル、活私強
國、此ノ精神デ行カナケレバナライノデ
アリマスカラ、私ハ減私奉公ト云フコトハ、
今ノ時代カラ見マシテモ極メテ適當シナイ
言葉デアアル、斯様ニ考ヘル、是ハ言葉ノ問
題デ末梢的ナコトト片付ケラレテシマフト
云フコトモアルカト思ヒマスガ、一應御意
見ヲ伺フテ置キタイト思フノデアリマス

御尤モデゴザイマス、多分減私奉公ト云フ
言葉ガ公ニ出シタノハ、數年前ノコトト思ヒ
マスガ、此ノ意味ハ聖德太子ノ十七條憲法ニ
「私ニ背キテ公ニ向フ」トアルノ御精神ヲ
酌マレタコトダラウト存ズルノデゴザイマ
ス、其ノ方ガ穩カデゴザイマセウ、色々私
ヲ忘レトカ、或ハ今仰シヤル私ヲ活カスト
云フ風ニ言フ場合モ、場合ニ依ツテハアリ
マセウ、又私共戰ニ行キマスト一死奉公ト
カ一死報國トカ言ツテ居リマスガ、餘リ新
シイ言葉ヲ使ヒマス、又ソコニ色々ナコ
トニナリマスカラ、オ互ヒ使ヒ慣レタ言葉
ヲ使フヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○小山田委員 言葉ノ問題ハ此ノ程度ニ致
シマシテ、昨日來問題ニナツテ居リマス私
有財産制度ノ否認ト云フコトニ關スル問題
デアリマスガ、是ハ昨日三田村君カラモ色
色質問ガアツタノデアリマシテ、ソレニ對
スル司法當局ノ御答辯ハ、ドウモマダハツ
キリ致サナイヤウニ思フノデアリマス、此
ノ治安維持法適用ノ範圍、十條ノ法律解釋
ト云フモノヲ明確ニナサラナケレバ、今後
色々ト面倒ナ問題ガ起ツテ來ルノデハナイ
カト思フノデアリマスカラ、蛇足ノヤウデ
アリマサルケレドモ、此ノ點モツトハツキ
リサセタイト云フ意味ニ於キマシテ、重ネ
テ御伺ヒヲ致シタイノデアリマスガ、昨日
ノ御答辯デハ國家ノ制度トシテノ私有財産
ノ否認ト云フコトハ、是ハイケナイノダ、
國家ノ要求スル産業上或ハ經濟上ノ建前
カラ、即チ公益ノ爲ノ私有財産ノ否定ト云
フヤウナ場合ニ於テハ、本法適用範圍外デ
アル、又私有財産ニ對スル部分的ノ否定ハ
宜イガ、全體トシテノ否認ハ是ハイケナイ
ト云フヤウナ、極メテ抽象的ナ御答辯デア

ツタヤウニ思フノデアリマスガ、若シ間違
ツテ居リマスナラバ御訂正ヲ願ヒマス、隨
テ土地國有論トカ産業奉還論トカ云フコト
ハ、本法ニ觸レナイト云フヤウナコトニナ
ルト思フノデアリマス、サウシタ御解釋ハ
大體ニ於テ私モ正シイ御解釋デアルト考ヘ
ルノデアリマスカレドモ、然ラバ私有財産
制度ヲ全面的ニ否認スル目的ヲ以テ、サウ
シタ一ツノ意圖ノ下ニ部分的ナ否認論ヲヤ
ツタト云フ場合、全體ト申シマシテモ部分
ト申シマシテモ、部分ノ集積シタモノガ全
體ニナルノデアリマスカラ、理論トシテハ
是ハ同ジダラウト私ハ考ヘマス、サウシタ
計畫的ナ意圖ノ下ニ於テ、所謂否認論ト云
フモノガアリ得ルコトモ思フノデアリマ
シテ、土地國有ノ問題デアルトカ、近來或
ル方面ニ叫バレテ居リマス所ノ財産ノ奉還
論ト云フヤウナコトハ、是ハ先刻モ一寸申
シマシタ國家社會主義的ナ思想デアリマス、
其ノ思想ニ依ツタモノト考ヘ得ラレルノデ
アリマスガ、詰リ此ノ國家社會主義的ナ私
有財産ノ否認ト云フコトハ、本法適用ノ範
圍外デアアル、斯様ニ承知致シテ宜シイノデ
アリマスカ、此ノ點ヲハツキリト今一度御
答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○柳川國務大臣 色々近頃新シイ言葉ガア
リマシテ、サウ云フ疑念ノ起リマスコトハ

○柳川國務大臣 私有財産制度否認ト云フ
コトノ意味ハ、私有財産制度ト相容レザル
制度ノ實現ヲ圖ルコト、即チ該制度ヲ根本
的ニ變更スル、或ハ根本的ニ破壊スルト云
フ意味デアリマス、私有財産制度トハ私人
ガ財物ニ對シテ有スル所有權ヲ基礎トシ、
所有權ノ有スル機能ヲ發揮セシムベク法ノ
保護シ、且ツ規律スル所ノ制度デアリマシ
テ、國民生活ノ基本ヲ成ス一ツノ制度デア
リマス、而シテ之ヲ思想的ニ申シマスナラ

バ、歴史的、國民的ニ拔クベカラザル信念
ノ存スル國民共存共榮ノ律則ヲ包含スルモ
ノト解スベキデアリマス、隨テ私有財産制
度ノ否認ハ、我が國家ノ組織ニ動搖ヲ及ボ
シ、我が國體ヲ變革スルニ至ル虞ガアルモ
ノト言ハナケレバナリマセヌ、私有財産制
度ハ斯様ニ重要ナル基本的制度デアリマス
ノデ、憲法ハ之ヲ保護シテ居ルノデアリマ
シテ、治安維持法ニ於テ之ヲ否認スル思想
ヲ處罰スル所以モ亦茲ニ存スルノデアリマ
ス、土地國有ノ主張モ其ノ内容ヲ具體的ニ
檢討致シマセヌケレバ、直チニ私有財産制
度ノ否認ニナルカドウカ判然致シマセヌ、
若シモ凡ユル財物ノ私有ヲ禁ゼントスル政
治上ノ主張ノ下ニ土地國有ヲ主張致シマス
場合ニ於テハ、勿論私有財産制度ノ否認ニ該
當スルモノトシテ、取締ノ對象トナルベキモ
ノト存ジマスガ、土地ハ最も重要ナル生産
資本デアリマスノデ、其ノ公有ヲ主張スル
場合ハ、凡ユル財貨ノ私有ヲ禁ズル主張カ
ラ出發シテ居ル場合ガ多カラウト存ジマス、
ソレカラ産業奉還論ト申シマシテモ、其ノ
内容ガ必ズシモ明確デアリマセヌガ、若シ
モソレガ凡ユル資本ノ私有ヲ禁ジ、之ヲ公
有ニ移スベキダト云フ主張デアリマスルナ
ラバ、左様ナ意見ガ現實ノ政治ニ於テ其ノ
實現ヲ主張セラレタ場合ニ於キマシテハ、
私有財産制度ノ否認ニ該當スルモノトシテ、
取締ノ對象トナルベキモノト考ヘマス

○三田村委員 極メテ明快率直ナル御答辯
ヲ承リマシテ私ハ満足致ス者デアリマス

○服部委員長 田村君

○田村委員 昨昨日保留シテアツタ點ヲ
一點ダケ司法大臣ニ承リマス、ソレハ國交
調整ノ問題ト、防共關係ノコトデアリマス、

本法案ヲ制定セントスル所以モ、共產主義のナ惡思想ガ我が國ニ傳播シテハナラヌカラ、之ヲ徹底的ニ取締リ、其ノ絶滅ヲ期シナケレバナラヌト云フ意味デ、本法ノ制定ヲセラレントシテ居ルノデアリマスガ、一方日「ソ」關係、殊ニ最近ハ東亞共榮圈ノ南方政策モアツテ、北方ヲ固メテ南方ニ進出シナケレバナラヌト云フ狀況ニアル、此ノ間ニ日「ソ」國交調整ハ非常ニ必要ノ度ガ増シテ居ル、所ガ日「ソ」國交調整ノ爲ニ、動モスレバ國內ノ赤化思想ノ動キヲ緩和スルノデヤナイカ、斯ウ云フ疑ヲ國民ニ持タスヤウナコトガアリマシタナラバ、國家百年ノ大計上由々シキ問題デアルト思フノデアリマス、昨日豫算委員會ニ於テ松岡外務大臣ハ、日「ソ」國交調整ト防共協定ハ全然別デアツテ、防共協定ハ其ノ儘存置スルノデアルト云フコトヲ明言シテ居ル、無論サウナクテハナラヌノデアツテ、サウアルコトハ疑ヒガナイ、唯、今申上ゲタヤウニ國民ノ間ニ動モスレバ、日「ソ」國交ノ調整ハ國內赤化問題ノ取扱上ニ多少ノ手心ヲ生ズルノデハナイカト云フ疑惑ガ起ルコトヲ私ハ惧レマス、國交ノ調整ハ國內問題トハ全然別デアリマス、日本ガ國交調整ヲ必要トスルト同一ノ意味ニ於テ、「ソ」聯モ亦我が國ト國交調整ニ依ツテ利益ヲ享受スルモノデアリマスガ故ニ、國交調整ハ國交調整、國內問題ハ嚴然トシテ國交調整トハ別デアアル、我が國ガ「ロシヤ」ニ對シテ立憲君主制ヲ強要シナイ、宣傳シナイト同様ノ意味ニ於テ、「ロシヤ」モ嚴然トシテ、共產主義ノ自國ノ國內政治情勢ヲ我が國ニ傳播宣傳スルガ如キハ、國交調整ノ一面ニ於テ嚴トシテ避ケナケレバナラヌト思フノデアリマス、隨テ我が國ガ「ロ

シヤ」トノ國交調整ノ一面ニ於テ、嚴トシテ我が國獨特ノ國內政治體制ハ之ヲ堅持シ、苟モ微動セシメナイト云フ、此ノ國家ノ大本ヲ立テテヤツテ戴キマセヌト、國民ノ心ニ色々ノ疑惑ヲ與ヘ、其ノ間ニ間隙ヲ生ゼシメマスヤウナコトガアリマシタナラバ、今日ノ重大ナ時局下ニ於キマシテ、派生スル所大ナルモノガアルト思ヒマスガ故ニ、此ノ機會ニ特ニ本法案取締ノ局ニ當ラレル司法大臣、竝ニ此ノ國家ノ大本ニ關スル國務大臣トシテ、此ノ際此ノ點ニ對スル明確ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○柳川國務大臣 對「ソ」國交調整問題ガ世上ニ流布セラレルニ及ビ、當局ガ國交調整ニ惡影響アルヲ慮リ、共產主義運動ノ取締方針ニ變更ヲ加ヘ、之ヲ緩和スルノデハナイカ等ト杞憂セラレル向モアルヤニ存ジマスガ、當局ト致シマシテハ共產主義運動ノ取締ニ關スル從來ノ方針ニ、變更ヲ加フル考ヘハ毛頭アリマセヌ、苟モ治安維持法ニ觸ルル思想ニ對シマシテハ、斷乎タル處置ニ出ヅル方針ヲ勿論堅持致シテ居リマス、今回治安維持法改正法律案ヲ提出致シマシタノモ、共產主義其ノ他ノ危惡思想ノ運動情勢ニ對應シ、其ノ取締ノ萬全ヲ期セシガ爲ニ外ナラナイノデアリマス、之ヲ以テ當局ノ方針ト御諒承ヲ願ヒマス

○服部委員長 次ノ質問ノ順序ハ世耕君

○世耕委員 實ハ大臣ニ少シ御尋ネシタイコトガアリマスガ、御急ギノヤウデアリマスカラ、政府委員カラ後デ大臣ニ御傳ヘテ願フ程度ニシテ、私ノ質問ヲ進メテ行キタイト思ヒマス、而シテ成ベク簡潔ニ御尋ネシテ行キタイ、斯ウ云フ積リデアリマス、昨日政府委員ノ方ノ御説明ノ中ニ、私有財

產制度否認ノ規定ハ立法技術上第一條カラ分離スル、斯ウ云フヤウナ説明ガゴザイマシタガ、此ノ點ハ一應私ハ諒解ガ行クト思フノデアリマス、併シ其ノ次ニ至ツテ御説明ナサツテ居ル時ニ、第一條カラ私有財產制度否認ヲ分離スルコトガ當然デアツタト云フヤウナ御説明ガアツタノデ、實ハ疑問ヲ生ジタノデアリマス、此ノ治安維持法ノ成立ノ歴史關係等ヲ見マシテモ、私ハ分離スルコトガ當然ダト云フ解釋ハ妥當デヤナイト思フノデアリマス、吾々ノ考ヘカラ申シマスナラバ、此ノ日本ノ國體ト云フコトト、私有財產制度ト云フコトハ、骨ト肉トノ關係ダト思フノデアリマス、若シモ之ヲ切離シテ獨立サシテシマフト云フコトニナルト體ヲ成サヌ、私ハ斯ウ云フ立場カラ實ハ論ヲ進メテ行キタイト思フノデアリマス、先ヅ此ノ點ニ付テ御同意願ヘルカ、別ニ何カ御意見ガアルカドウカ、其ノ點ニ依ツテ更ニ質問ヲ進メテ行キタイト思ヒマス

○太田政府委員 御答申上ゲマス、昨日私ガ申上ゲマシタ意味ハ、共產主義或ハ無政府主義ノ要點ヲ、國體變革ノ思想ト私有財產制度否認ノ思想ト、二ツノ點ニ捉ヘテ治安維持法ハ之ヲ規定シタ、サウ云フ沿革デアリマスガ、其ノ後ニ至リマシテ單純ナル私有財產制度ノ否定ノ思想、即チ一國共產黨ノ如キモノガ出來テ參リマシタノデ、サウ云フモノニ治安維持法ヲ適用シテ行ク上ノ便宜カラ、之ヲ分ケルト云フコトノ實益モ生ジテ來タト云フ趣旨デゴザイマス

○世耕委員 サウシマスト本來ナラバ同一條項ニ規定シテ居ツタ舊來ノ治安維持法ノ書キ方ガ、適當デアツテ、寧ロ便宜上、立法技術上、斯ク區別シタモノデアルト解釋

シテ差支ゴザイマセスカ

○太田政府委員 危惡思想運動ノ情勢ノ變化ニ應ジマシテ、之ヲ分ケテ規定スル方ガ立法上或ハ適用上便宜デアアルニ至ツタト云フ趣旨デゴザイマス

○世耕委員 了解致シマシタ、次ニ御尋ネ致シマスコトハ、此ノ前治安維持法ヲ司法省デ御提出ニナリマシタ時ノ議會ノ資料ヲ見マスノニ、國體ノ變革ノ中ニ政體ト云フコトガ盛ラレテ居タコトガアツタガ、ドウ云フ關係デ之ヲ議會デ削ツテシマツタカ、寧ロ私ハ今日ノ時局柄、其ノ間ニ政體ト云フコトヲ一ツ入レルベキデハナイカ、斯ウ考ヘルノデスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○太田政府委員 御説ノ如ク最初治安維持法ヲ提案致シマシタ時ニハ、國體ノ變革ト竝ベテ政體ノ變革ト云フ言葉ヲ使ツテ居リマシタ、ソレガ衆議院ニ於テ削除サレタノデアリマス、衆議院ニ於ケル當時ノ速記録ヲ見マス、政體ノ變革ト云フ言葉ハ如何ニモ曖昧デアアル、是ハ立憲制度ヲ變革スルト云フ趣旨以上ニ廣イモノヲ包含スル、斯ウ云フ曖昧ナ言葉ハ斯ウ云フ重キ罰ヲ以テ臨ム法律ニ規定スベキデハナイト云フ衆議院ノ御意見デ、削除ニ相成ツタノデアリマス、左様ニ私共ハ速記録デ承知シテ居リマス

○世耕委員 今度ハソレヲ御入レニナル御考ヘハナイカト云フコトヲ御聽キ致シマス

○太田政府委員 其ノ後六十五議會及ビ六十七議會ニ、司法省ト致シマシテ治安維持法ノ改正案ヲ提案致シタノデゴザイマス、又今度モ提出致シタノデゴザイマスガ、最初ノ時ノサウ云フ衆議院ノ御意見ヲ尊重致

シマシテ、又私共モソレガ多少曖昧ナ言葉デアルト存ジマスノデ、ソレヲ避ケテ居ルノデゴザイマス、ソレデ此ノ間司法大臣カラ御話ノアリマシタヤウニ、單純ナル政體ノ變革ト云フコトハ、餘リアリ得ナイノデアツテ、結局私有財産制度ヲ否認スルカ、或ハ國體變革ニ至ルベキ手段、或ハ其ノ道程トシテ政體變革ト云フコトガ考ヘラレル場合ガ多イト思ハレマスノデ、政體變革ノ思想ヲ調ベテ参リマスレバ、現行ノ治安維持法ニ依ツテ處罰セラルベキ思想ヲ含ンデ居ルモノダト云フ風ニ多ク考ヘラレルダラウト思ツテ居リマス

○世耕委員 分リマシタ、尙更ニ御尋ネ致シマス、私有財産制度否認ノ意義ニ關スル問題ニ付テ、先刻司法大臣カラ是ハ當局ノ意見ダト云フ風ニ御説明ガアリマシテ、大體了承致シマシタガ、此ノ私有財産制度否認ノ意義ニ關スル大審院ノ判例、昭和四年ノ例第三百八十九號、昭和四年五月二十一日大審院刑事第四部判決、ソレカラ昭和六年七月九日ノ大審院刑事第一部判決ガゴザイマスガ、此ノ判決内容ヲ改メテ判決ハ別ニ現在出テ居リマセヌカドウカ、御聽キシタイト思ヒマス

○太田政府委員 ソレヲ變更シテ判決ハ出テ居リマセヌ

○世耕委員 能ク分リマシタ、實ハソレデ大體司法省ノ治安維持法ニ對スル御見解ガ明カナツタヤウニ感ズルノデアリマス、唯問題ハ最近ノ日本ノ社會情勢ヲ見マス、十年前ノ日本ノ思想狀況ト現在ノ思想狀況トニハ、非常ナ飛躍性ガアル、是マデノ共產黨ノ動キヲ見マス、集團的デアツタノガ、今度ハ潛ツテ個々ニナツテ來テ居ル、

之ヲ洩ラシテシマツタノデハ折角ノ法律ガ效果ヲ現ハサナイト思フノデアリマスカラ、此ノ點ニ特ニ御留意ヲ願ヒシタイノデアリマス、是ハ日本デ思想方面ニ相當權威ノアル人ノ書イタ本ノ昭和六年四月版ヲ私ハ見タノデアリマスガ、此ノ本ハ最近學生左翼運動ノ秘録ト云フ名稱デ發行サレテ居リマス、其ノ序文ノ中ニ、無論ハ十年前程前ニ發行サレタノデゴザイマスガ、斯ウ云フコトガ書イテアル、十年前ノ危險思想ガ十年後ニ於テハ平凡ナル一社會常識ト化ス、十年前ニ斷定シテ居ル、十年前危險思想トシテ吾々ガ苦心シテ取締ニ當ツタモノガ、今日ハ平凡ナル常識ニナツテ來テ居ル、サウ云フコトガ今日ノ日本ノ國情デハナイカト云フコトヲ窺フ實ハ幾多ノ資料ヲ發見スルノデアリマス、此ノ點ヲドウゾ十分御諒承願ヒタイ、例ヲ申上ゲマスナラバ、當時私ハ大學デ學生主事ヲシテ、思想方面ノ取締ヲヤツテ居タノデアリマスガ、學生ノ消費組合ト云フモノガ流行シタ、ソレハ「ロシヤ」ノ消費組合ヲ倣ツテヤツタノデアリマスガ、此ノ消費組合設立ヲ要求シテ來タコトヲ裏デ探ツテ見ルト、皆左翼ノ學生デアアル、而モ是ハ甚ダ皮肉ナ結果ニナル譯デアリマスガ、其ノ消費組合ヲ作ツタ學生ガ其ノ資金ヲドウ使フカ、其ノ運用ヲ調ベテ見マス、ヤハリ左翼運動資金獲得ノ爲ニヤツタ事實ガ幾多發見サレルノデアリマス、而モ其ノ時ノ消費組合ノ組合長ガ、或ハ是ハ同名異人カモ知レナイガ、有馬頼寧ト云フ人デアアル、實ニ皮肉デアアル、即チ斯様十年前ニ危險思想デ吾々ガ騒ギ廻ハツタノガ、十年後ノ今日ニ於テ平凡ナル一社會常識ト化スト云フコトヲ學者ガ斷定シタノト、ピツタリ合ツテ來ル、

私ハソレヲ悞レルノデス、世間デ赤イトカ、黒イトカ、白イトカ言ツテ居ルノハ偶然言ツテ居ルノデナイコトヲ、私ハ昨夜著書ヲ調ベテ發見シタデアリマスガ、重要ナ地位ニ就カレテ堅實ナ思想ヲ指導ナサツテ行カレル司法省トシテハ、特ニ此ノ點御留意ヲ願ヒシタイノデアリマス、尙ホ時間モ過ギテ居リマスカラ、私ハ簡單ニ片付ケル意味ニ於テ、之ヲ二、三點讀上ゲテ置キマス、昨日特ニ太田サンニ意地悪ク食下ツタ理由ガ、實ハ是デ諒解シテ戴ケルダラウト思ヒマスガ、御承知ノ「カール・カッパ」ト云フ外國ノ學者デ、社會主義者デアリマスガ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル「社會主義者ハ土地ト資本ノ私有ヲ排撃シ、之ヲ法律又ハ國家ノ行爲ニ依リテ社會的ナ所有ト統制ノ下ニ置クコトヲ主張ス」斯ウ云フ定義ヲ書イテ居リマス、今日ノ社會主義者ハ利口ニナツテ自分ダケ縛ラレルヤウナ下手ナコトハセヌ、或ル一部ニ於テハ法律ニ潛リ、立法技術ヲ活用シ、或ル場合ニ於テハ國家ノ行爲ニ依ツテ合法的ナ社會運動ヲヤルト云フコトヲ、「カール・カッパ」ト云フ學者ガ斷定シテ居ル、斯ウ云フコトカラ日本ノ國體、私有財産制度ニ大キナ罅ガ入ルノデハナイカト云フコトヲ憂ヘルカラ、實ハ土地ノ國有ト云フ問題ニ付テモ、御尋ネシタヤウナ譯デアリマス、又ハ社會主義者全體ノ定義トシテ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス、社會主義ハ生産手段ノ私有ヲ排シテ、社會ノ公有トシ、自由競争ヲ基礎トスル産業ヲ、社會的ナ管理ノ基礎ノ上ニ改造セントスルノガ、即チ社會主義デ、是ハ世界共通ノ社會主義理論デアアル、又共產主義ハ生産財ノミナラズ、消費財ヲモ共同ニシ、社會又ハ

集團ニ依ツテ所有セントスル教義デアルトモ言ツテ居リマス、日本ノ現在ノ社會組織ガ、ドウ云フ風ナ方向ニ向イテ居ルカト云フコトヲ、社會主義者ガ定義シタ、其ノ定義ヲ尺度ニシテ考ヘテ見ルト、私ハ非常ニ恐ロシイモノヲ發見スルノデアリマス、吾ハ此ノ治安維持法ヲ活用シテ、今日之ヲ強化シテ戴クコトニハ、雙手ヲ擧ゲテ贊成スル、サウシテ之ヲ運用シテ、此ノ巧妙ナル潛リ戰術ヲ、ドノ程度マデ抑ヘテ行クカト云フコトヲ、實ハ御聽キシタイ、又他ノ定義ヲ見マス、斯ウ云フコトヲ書イテ居ル、思想上ノ自由主義、政治上ノ自由主義トハ、當初ハ保守主義ニ對立シタ意義ヲ持ツテ居ツタノデアアル、最近ニ於テ共產主義ノ擡頭スルヤ、無產者獨裁主義ト、暴力革命主義トニ對立シテ、更ニ新ナル意義ヲ有スルニ至ツタ、若シ社會改造ヲ等シク唱フルニ拘ラズ、共產主義ニ對立シテ、暴力革命ト無產者獨裁トニ反對スルモノアラバ、ソレハ自ラ意識スルト否トニ拘ラズ、自由主義ニ立脚スルモノデアルト云フコトヲ斷定シテ居ル、所ガ今日吾々ノヤウニ、暴力革命、無產運動、共產運動ノ戰線ニ立ツテ爆撃スル者ヲ、アイツハ自由主義ダト云ツテ居ル、其ノ自由主義ダト云フコトヲ、寧ロ世間ハ是認シテ居ル、アイツハ自由主義ダト云フコトハ、逆ニ言ヘバ俺ハ共產主義ダト云フコトヲ、當然認メナクテハナラスト云フコトガ、此ノ定義ニ現ハレテ居ル、所ガ今日ハ自由主義ト云フト非常ニ惡イコトニナツテ居ル、頑迷固陋ノ思想ノ如ク解釋サレテ居ル、先程田中局長ガ、ソナナコトヲ言ヒ出シタカラ引掛カラウト思ツタラ歸ツテシマツタカラ申上ゲマセヌデシタ

ガ、吾々ノ自由ト云フノハ、憲法上ニ規定サレタ自由ノ範圍ヲ主張スル、所謂國民ガ伸ビントスルカヲ、自由ニ依ツテ伸バサセヨウト云フ主張デアツテ、世間デ言フ自由主義トハ異ナルコトハ言フマデモナイノデアリマス

ソレトモウ一點是非聴イテ置イテ戴キタイコトハ、是モ社會主義者ノ定義ノ中ニアルコトデアリマスガ、資本主義ハ一ツノ社會制度全體デアルト云フコトヲ言ツテ居ル、即チ私ガ國體ノ變革ト云フコトト、私有財産制度ト云フモノヲ、分離スベキ性質ノモノデナイト云フコトヲ言ツテ居ル、又社會主義者自身モ、サウ言ツテ居ル、資本主義ハ一ツノ社會制度ノ全體デアル、是ハ又昨日モ政府委員ガ、サウ云フコトヲ言ツテ居ラレマシタガ、此處デス、私有財産制度ヲ著シク制限シテ社會的統制ヲ行ハントスルノハ、社會主義ノ特徵デアル、「プラト」ヨリ「マルクス」ニ至ルマデ、私有財産制度ニ對スル凡ユル思想ヲ總稱シテ、社會主義ト名付ケル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、只今私ガ讀上ゲタコトハ、私ノ獨創ノ意見デアリマセヌ、日本ノ國內ニ於テ發行サレタ改造社ノ社會科學大字典ノ中ニ、立派ニソレヲ言ツテ居リマス、書イテ居ル人ハドウ云フ人ダト云フコトモ吟味シテ、演説ノ要領ヲ得ル積リデ此處ニ書イテ來タノデアリマスカラ、ドウゾ其ノ本ニ依ツテ、御手隙ノ時ニデモ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ斯ウ云フヤウナ思想ガ、今日ノ時局ニ便乗致シマシテ、計畫經濟、統制經濟ノ中ニ潛ツテ來テ居ルコトハ、諄諄シク私カラ申上ゲルマデモナカラウト思ヒマスカラ、此ノ點ハ省略致シテ置キマス

尙ホ最後ニ私ハ結論トシテ申上ゲタイコトハ、英國ノ資本主義ハ自由競争ノ祖國トシテ現ハレタ、「ドイツ」ヤ米國ノ資本主義ハ集中專制ノ本場トシテ現ハレタ、日本ノ資本主義ノ發達ハドウ云フ風ニナツテ來タカト云フト、私ハ軍事ト並行シテ發達シテ來タト思フ、其ノ理由ハ、或ル意味ニ於テ日本ノ資本主義ハ、國防經濟ダト思ヒマス、即チ日清戰爭ヲ契機トシテ大冶鐵ノ確保、八幡製鐵所ノ設立ハ、此ノ日清戰爭ノ刺激ニ依ツテ現ハレテ來タモノダト思フ、又日露戰爭ヲ契機ニシテ、滿洲ノ鐵道確保ト鞍山製鐵所ノ設立ノ如キ、更ニ又技術的方面ヲ見マシテモ、兩役ヲ通ジテ綜合的工業ノ發達、例ヘバ造船トカ、製艦技術ノ完成、或ハ工作機械製作ノ成功、船舶海運又然リデアリマスガ、是皆戰爭ニ刺激サレテ發達シテ來タノデアツテ、一面ニ於テ日本ノ資本主義ト云フモノ、産業組織ト云フモノハ、軍事ト並行シテ發達シテ來タノデアアル、然ルニ支那事變發生以後ノ日本ノ産業界、及ビ經濟界ヲ見マサルニ、是ガ行キ方ハ逆轉シテ居リマス、恐ラク是ハ私ノ主張デアルバカリデナク、何人モ是ガ從來ノ産業組織ト變ツタ行キ方デアルト云フコトヲ認メルコトガ出來ルト思フ、即チ支那事變ヲ契機ニ、日本ノ國內ニ赤化思想ガ極度ニ各階層ニ食入ツテ、我が國ノ聖業ヲ阻止セザルニ、産業經濟界ヲ混亂ニ導カントシテ、事變中ニ此ノ實行困難ノ伴フ統制計畫經濟ヲ、我が産業界ニ國家權力ヲ以テ強要セシメテ、以テ政府ト國民、官吏ト民衆トヲ對立衝突セシメントスルモノト斷定出來ル材料ヲ、私ハ發見出來ルノデアリマス、日本人ノ愛國心ハ、戰時ニ於テ特ニ異常ナ感激ノ下ニ

發揮セラレルノデアツテ、戰線ニ於テモ、戦後ニ於テモ同一デアルト思フノデアリマス、然ルニ支那事變中ニ、果シテ國民ノ愛國心ガ、十二分ニ發揮サレテ居ルカドウカ、産業界ノ狀況ヲ見レバ、私ノ申上ゲルコトハ立證出來ルコトガ幾ラモアルダラウト思ヒマス、ダカラ日本人ハ左翼ノ巧妙ナ手段ニ依リテ、祖國日本ヲ思フ念ヲ狭メラレテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ疑ヒヲ深ク持ツテ居ルノデアリマス、同時ニ之ヲ政治上ノ方ニ觀イテ見マシテモ、政治上ニ於テハ折角舉國一致以テ、其ノ體制ヲ整ヘテ居ツタ、所ガ大政翼賛會ト云フヤウナモノガ現ハレテ憲法違反、或ハ政爭ヲ敢テ激セシメントスル新組織ヲナスナド、皆赤化思想ノ根本ヲナスモノデアルト私ハ斷定シタイ(拍手)ダカラ日本ノ今日ノ聖業ヲ達成スルニハ、ドウシテモ左翼ヲ徹底的ニ取締ツテ行ク、ソレニ付テハ部分的ト云フヤウナコトヲ私ハ假借シテハイカヌ、モウ少シ突込ンデ考ヘテ戴キタイト云フコトヲ、御願ヒ致シマスノト、最後ニモウ一點御許シ願ヒタイコトハ、國體變革ニ付テハ、嚴重ナ刑ガ加算サレルコトニナツテ居リマスケレドモ、私有財産否認ニ對シテハ、依然トシテ十年ト云フコトニナツテ居ル、是ハ少シ考ヘガ違フデヤナイカ、寧ろ私有財産ト云フモノニ對スル觀念ガ薄ライダ結果デヤナイカ、例ヘバ刑法ニ於テ竊盜ガ十年、竊盜シテ十年ノトキ、私有財産否認ト云フ大キナ國體ノ變革ニ關係ス及ボスモノガ、ヤハリ十年デアアル、此ノ點私ハ少シ腑ニ落チヌ所ガアル、之ニ付テ何カ一ツ御考ヘヲ漏ラシテ戴ケバ、結構ダト思ヒマス

最後ニ私ハモウ一點、茲ニ古人ノ言ヲ例ニシテ結論ヲ得タイト思ヒマス、筍ヲ竹ニセントテ竹ノ垣ト云フ言葉ガアル、ドウモソナ所ニ引掛ツテ居ヤセンカト思フ、最近閣取引ヲヤルト罰金五千圓デアツタモノガ、一躍五萬圓トナツテ約十倍ニナツタ、閣取引ヲヤツテ懲役一年デアツタモノガ、七年ニナツタト云フコトカラ、私ハヤハリ司法省ノ持ツ昔ノ國體觀念ニ、少シ鯁ガ入ツタノデハナイカト云フ疑ヒヲ持ツテ來タ、是ハヤハリ統制ト云フ根本理念ヲ、御研究ニナツタ後ノ發案デアルカドウカ、通ツテシマツタカラ今更文句ハ言ヒマセヌガ、實ハ此ノ點ハ刑事局長サンニ、ユツクリ御聴キショウト思ツテ待ツテ居ツタノデスガ、機會ヲ失ツテシマヒマシタ、人蔘飲ンダ首縊ルト云フ例モアリマス、此ノ治安維持法ハ、私共非常ナ大キナ期待ヲ持ツテ居ルダケニ、又非常ナ關心ヲ持ツ者デアリマスカラ、ドウゾ此ノ點ニ付テモ、十分御留意下サルコトヲ希望シテ、私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマス

○秋山政府委員 段々ト御意見ヲ伺ヒマシタガ、御話ノ趣旨ハ十分尊重致シマシテ、此ノ法律ノ成立致シマシタ曉ニハ、此ノ運用ニ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居リマス

○服部委員長 三田村君

○三田村委員 只今世耕君ノ御質問ノ中ニモ、部分的ニ含マレテ居リマシタガ、實ハ私ハ總括的ナ質問ノ際御伺ヒスル積リデ、留保シテ居ツタノデアリマスガ、時間ノ關係モアリマスノデ、此ノ際僅カナ時間ニ御尋ネ致シタイ、ソレハ本法ノ解釋論ニナリマシテ、少々面倒デアツテ而シテ非常ニ重要ナ問題デアリマス、ソレハ結果ノ認識ト目的罪ノ成立、具體的ニ申上ゲテ見ナケレ

バ分ラヌノデアリマスガ、例ノ經濟新體制問題カラ、大分外部デ色々意見ガ行ハレノデアリマス、所謂官僚人民戰線問題トカ、計畫經濟ノ目的ガ何處ニアルトカ、是ガ社會主義デアルトカ、何トカ云フヤウナコトガ相當アル、ソコデアノ經濟新體制ヲ繞ツテ、經濟關係會議ニ展開サレタ其ノ議論ノ中ニモ、多分出テ來タ問題デアラウト信ジマスガ、結局此ノ計畫經濟ヲ進メテ行クト、今日最モ必要トスル生産ノ擴充ガヤレナイ、生産ヲ減退セシメル結果ニナル、而シテ生産ヲ減退セシメレバ、所謂高度國防國家體制モ完成サレナイ、又生産ヲ減退セシメ、財界ヲ動搖セシメレバ、國民生活ノ不安ヲ招來スル、國民生活ノ不安ヲ招來スレバ、是亦高度國防國家體制ノ重要ナル一要素ヲ缺ク、斯ウ云フ議論ヲ三段論法デヤツテ來マス、或ル計畫ノ下ニ、或ル方式ノ下ニ一ツノ計畫ヲ立テテ、之ヲ實行ニ移ス際、其ノ「プラン」ヲ描ク人ノ頭ノ中ニ、現在ノ經濟機構ヲ改メナクチャイカヌノダ、是デハ戰爭ガヤレス、是デハ高度國防國家體制ノ完成ハ出來ナイ、生産ノ擴充モ出來ナイシ、國防ノ充實モ出來ナイ、隨テ已ムヲ得ナイ犧牲ダ、一ツノ忍バナケレバナラナイ犧牲ダトシテ、少々財界ノ混亂ヲ招來シテモ、之ヲヤラナケレバナラヌト云フ人ガ隨分アル、詰リ已ムヲ得ナイ現象トシテ生産力ヲ落シ、乃至ハ財界ノ動搖ヲ招來シテモ、之ヲヤラナケレバイカンノダ、三年後カ八年後カ知ラヌケレドモ、新シイ經濟體制確立ノ過程トシテ、已ムヲ得ナイ手段デアルト云フコトヲ、能ク聞クノデアリマス、ソレヲ一面官僚人民戰線ダト云フ言葉ヲ以テ攻撃スル、ソコデ私ハ斯ウ云フコトガ問題

ニナツテ來ルト思フ、事實今日日本ハ五年戰爭シテ居リマス、是ハ支那ニ向ツテノ戰爭デアリマスガ、眼前ニ迫ツタ問題ハ世界ノ一大決戰、ヨリ大ナル戰爭ニ突入シナケレバナラスカモ知レマセヌ、其ノ際絕對必要ナモノハ、時間的ニモ、又空間的ニモ、ソシナニ先ニモノヲ延バシテ考ヘルコトハ出來ナイ、今日ノ前ニ生産力ヲドムノ擴充シ、國防ヲ充實シ、乃至ハ最小限度デモ國民生活ヲ確保シテ行カナケレバナラヌト云フ必要ニ迫ラレテ居ル、其ノドレカガ壞レテ行ケバ、是ハ戰爭不可能ト云フコトニナル、所謂反戰的、反軍的ナ條件ヲ伴ツテ來ル、其ノ場合一ツノ計畫ヲ描ク人、ソレヲ實行セントスル人ノ頭ノ中ニ、結果ノ認識ガアルノデス、詰リ此ノ計畫ヲ實際ニ移セバ生産力ハゲント落ち、財界ハ一應混亂スルダラウ、國民生活ノ確保ハ時間的ニ出來ナイ、或ル一定期間續イタト云フコトガアルカモ知レヌ、アルカモ知レヌガ、モウ少シ更ニ飛躍スル爲ニ、之ヲヤラナケレバナラヌト云フ一ツノ結果ニ對スル認識、其ノ結果ニ對スル認識ヲ以テヤル場合、茲ニ新シキ問題ガ起ツテ來ル、詰リ其ノ認識サレタ結果ガ、事實ニナツテ現ハレテ來タ時、非常ニ困ル大キナ問題ハ、假ニ例ヘバ其ノ「プラン」ガ今日カラ實行サレ、一年後乃至ハ八箇月後ニサウ云フ不安ガ起ルカモ分リマセヌ、ソコデ經濟機構ガ一應ノ動搖ヲ見ル、其ノ動搖ヲ見タ瞬間ニ、日本ハドウシテモ戰爭シナケレバナラヌコトニナツテ、非常ニ困ル問題デアル、其ノ場合ニハ此ノ治安維持法ニ規定スル一ツノ罪質ト同ジ結果ヲ見ルカモ知レマセヌ、大體其ノ結果ニ對スル認識ハアル、認識ハアルガ目的ハ持タナイ、詰リ國體ヲ變革ス

ルトカ、乃至ハ私有財産制度ヲ否認スルト云フ目的ハ持タナイガ、同様ノ事實ニ對スル結果論的ナ認識ハアル、斯ウ云フ場合ニ非常ニ難カシイ解釋論ニナリマスガ、サウ云フコトモ一應研究シテ見ル必要ガアルノデアリマス、近頃色々左翼思想ノ取締ト云フ方面ニハ、嚴重ニ手ガ延ビテ居ルヤウデアリマス、ドウ云フ意味合ヒカラサウ云フモノニ手ヲ入レラレルカ、私ハソレガ人民戰線デアルトカ、乃至ハ國體變革デアルトカ、サウ云フ見方ヲスルノハ中々困難デハナイカト思フ、殊ニ是ハ公開ノ席デアルカラ申上ゲマセヌガ、色々ナ職場ヲ持ツテ居ル人ニ對シテ困難デハナイカト思フ、併シ斯ウ云フ其ノ結果ニ對スル認識モ、亦目的罪ヲ構成スルト云フ解釋ヲ執ルト、此ノ點ハ非常ニハツキリ抑ヘテ行ケルト思フ、大分是ハ難カシイ解釋論ニナリマスケレドモ、是ハ一應研究シテ置ク必要ガアルノデハナイカト思フ、モツト率直ナ御話ヲスルト分ル、祕密會ナラ申上ゲマスガ、唯多少示唆的ニ申上ゲルナラバ、實際ニ或ル政治機關ノ部署ニ就テ仕事ヤツテ居ル人ガ、非常ニ進ンダ計畫ヲ描イテ居ル、吾々ハ之ヲ官僚ノ觀念的机上論ト云ツテ攻撃シテ居リマスガ、サウ云フモノガ隨分今マデ不必要ノ摩擦ヲ起シテ居ル、隨分不必要ナ經濟斷面ノ故障ヲ生ジテ來テ居ル、サウ云フ場合ニ、ソレハ怪シカラヌデハナイカト云フト、ソレハ已ムヲ得ナイト云フ、サウ云フコトヲヤルト生産ガ落ちシ、國民生活ニ動搖ヲ來シ、財界ニモ動搖ヲ招來スルト云ツテモ、サウ云フコトガアツテモ已ムヲ得ナイ、是ハ一遍經濟機構ヲ根本的ニヤリ直サナケレ

バナラナイノデアルカラ、強制的ナ手段ヲ以テ行クヨリ仕樣ガナイ、彼等ニ反省ヲ求メテ見タツテ、迎テモ反省シナイノダカラヤラナケレバナラヌ、斯ウ言フノデス、吾ハサウ云フ議論ヲシタコトガアル、私ハサウ云フモノニ對シテ、ソレハ困ル、平時ニ於テ三年カ、五年カ先ニ新シイ經濟體制ヲ描イテ、ソレニ到達スベク一ツノ努力ヲ進メテ行クナラ宜イケレドモ、今眼前ニ迫ツテ居ル問題ヲ解決シテ行カナケレバナラヌ、大砲ハ今造ラナケレバナラヌ、飛行機ハ今造ラナケレバナラヌ、生産擴充、軍備ノ充實ハ今ヤラナケレバナラヌ、ニモ拘ラズソレト逆ナ方向ニ行ク、結果ニ對スル認識ヲ持チナガラヤルコトハ困ルデハナイカ、斯ウ云フ議論ヲ隨分ヤツタモノデス、恐ラクサウ云フ點ハ御承知ノコトト思フ、之ヲ法ノ解釋上、ドウ取扱ツテ行ケルカ、恐ラクソレハ此ノ解釋論トシテハ、目的罪ヲ構成シナイト云フ御答辯ニナルト思ヒマスケレドモ、目的罪ノ構成ヲ見ナイトシテモ、結果ノ認識ガ此ノ目的罪ノ狙ツテ居ル行爲ト同ジモノヲ招來スル場合、是ハヤハリ法ノ運用上相當考ヘ、且ツ練ツテ置ク必要ノアル問題デハナイカト思ヒマス、ドウ云フ御解釋、御見解デアリマスカ、一ツ御伺ヒシタイ

○秋山政府委員 只今ノ御尋ネハ大變難カシイ御議論デ、法律問題トシマシテモ、具體的ノ事案ニ當ツテ檢討シテ見ナケレバ、此處デ抽象的ニ御答ヘガ出來兼ネマス、サウ云フ點ニ付キマシテモ、尙ホ十分研究ハ致シテ置キタイト思ヒマス

○三田村委員 御答辯ハ其ノ通りト初メカラ私豫想シテ居リマシタ、ソレデハモウ少

シ突込ンダ問題ヲ提供ヲシテ見タイト思ヒマス、是ハ一ツノ假定トシテ御聽キ願ヒタイ、經濟ノ中樞ニ携ハツテ居ル役人トシマス、而モソレハ經濟ト申シマシテモ、國ノ經濟デス、是ハ具體的ニ企業院デモ、商工省デモ何處デモ宜イ、其ノ中樞ニ携ハツテ居ル役人ハ、非常ニ強イ力ヲ持ツテ居ル、詰リ國ノ經濟施策決定運籌ノ上ニ、強イ力ヲ持ツテ居ル、サウ云フ人ノ頭ニ一ツノ經濟ノ計畫ヲ描ク、新シイ經濟機構ヲ描ク、ソレハ非常ニ獨創的ナモノデス、私ハ其ノ背後マデモ見タコトハナイシ、又見ヨウトモ思ヒマセヌ、見ヨウト思ヘバ見ラレルカモ知レナイガ、ソレヲ見ヨウトハシマセヌガ、其ノ人ノ描イテ居ルモノガ、今私が申上ゲタヤウニ、之ヲ自分ガ立案スルト上ノ人が判ヲ捺ス、判ヲ捺セバ是ハ實際政府ノ施策トシテ出テ來ルノダ、現ニ是ハ經濟新體制トシテ行ハレルノダ、之ニ法律的性格ヲ加ヘレバ、強制權ヲ持ツノダ、法律的性格ヲ加ヘナクテモ、行政的ナ政治力ヲ持テバ、ドン／＼是ガ國家ノ意思トシテ、國家ノ方針トシテ施行出來ルノダト云フコトヲ、シツカリ頭ニ描イテ一ツノ「プラン」ヲ作ル、是ハ一ツノ案デス、其ノ人が其ノ案ヲ自分ガ描ケバ行ハレルノダ、併シ之ヲ行ヘバ半年後乃至ハ一年後ニ、必ズ日本ノ生産ハグンと落テル、金融機關ヲ閉塞スルカモ分ラヌ、財界ニ一大混亂ガ來ルカモ知レナイ、併シ自分ハソレヲ乗り越エテ行クノダ、或ハ場合ニ依ツタラ乗り越エラヌカモ分ラヌ、ソコデ打突カルカモ分ラヌ、生キ抜クカモ分ラヌ、一ツ之ヲヤラウト云フ案ヲ立テタ場合、私ハソレカラ先ノ目的マデ言ハナイデスガ、其ノ先ノ目的ヲ持ツテ居レバ、是ハ問題ガ

ハツキリスル、サウシテ其ノ背後ヲ覗イテ見テ、ソレマデ考ヘレバハツキリスルノデスガ、ソレハ言ハナイ、サウデナク混亂ノ招來、生産ノ減退ト云フコトヲ頭ニ描キナガラ一ツヤラウトシタラ、現實國家ノ立場カラスレバ、非常ニ困難問題デス、非常ニ不安ノ問題ガ起ル、現ニサウ云フ問題ヲ過去ニ於テ經驗シテ居ル、戰爭ヲ五箇年間ヤツテ居ル間ニ、隨分經驗ヲシテ來タ、是ハ全面的、全體のナ問題デハナクシテ、局部的ノ問題デアツテモ、隨分經驗シテ來テ居ル、サウ云フ場合ニ此ノ問題ノ扱ヒト云フコトハ、單ナル官吏ノ責任上ノ問題トカ、行政上ノ身分ノ問題トカ云フモノトハ、大分趣キガ違フト思フ、若シモサウ云フ考ヘデサウ云フ職ニ在ル人が、ドン／＼其ノコトヲヤツテ來レバ大變ナコトニナル、私ハ治安維持法ト云フモノハ、一ツノ思想系統ヲ持ツタ系統的ナ思想犯罪ニ付テ、適用サレルコトヲ歷史的ニモ知ツテ居リマスケレドモ、今日治安維持法ガ狙ツテ居ル國家法益ハ、ヤハリ國家全體ノ健全ナル姿デアル、サウ云フ大キナ國家の損失ヲ招來スル事實ニ對シテハ、ヤハリ法トシテ或ル程度狙ツテ置カナケレバナラスト思フ、勿論難カシイ解釋論ニナリマシテ、今刑事局長ノ御話ノ通り、具體的ナ問題ガ出テ來ナケレバ、ソレバ右トモ左トモ解釋ノ出來ナイ、判斷ノ出來ナイ事案ニハ違ヒアリマセヌガ、一應サウ云フ方面ノ御考慮ト云フモノハ、私ハ必要デハナイカト思フ、其ノ意味デ申上ゲタノデアリマス、私ハ此ノ席デ乃至ハ此ノ次ノ委員會ノ席上デ、御答辯ヲ要求スルノデハアリマセヌ、非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、御答辯ヲ願ハウトハ思ヒマセヌガ、本法運

用上サウ云フ意味ノ御考ヘヲ御持チニナツテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ一ツノ警告ニモナルノデス、私ハ餘リ事實ヲ申上ゲタクハアリマセヌカラ差控ヘマスガ、昨年ノ八、九月頃カラ經濟新體制問題ガ起ツテ以來、私達モ隨分研究ヲシマシタ、學者ヲ集メテ經濟問題研究會ヲ作り、毎日每晚ノヤウニ研究會ヲ開イタノデアリマス、サウシテ實際サウ云フ仕事ヲヤツテ居ル所謂革新官僚ト云フヤウナ連中ト、時々話合ツテ見タノデスガ、問題ハ何時デモソコニ行ク、私達ハ當面ノ問題ヲ解決シテ行カナケレバナラヌ、兎ニ角何ヨリモ今日日本ハ生産擴充ヲ必要トスルノデハナイカ、國防ノ充實ヲ必要トスルノデハナイカ、一日モソレヲ忽セニスルコトハ出來ナイデハナイカ、サウシテ又財界ノ一大混亂ヲ招來スルコトハ、延イテハ國民生活ノ不安ヲ招來シ、又思想ニモ動搖ヲ來スノダ、ソレガ困ルノダト言フト、ソレハアナタ達ノ考ヘガ自由主義ダ、現状維持ダト言フ、吾々ハ寧ロモツト進ンダ革新的ノ方向ヲ持ツテ居ル、モツト進ンダ徹底シタ國防經濟體制ト云フモノヲ考ヘテ居ル、考ヘテ居リマスガ、其ノ點ニナルト非常ニ食違ツテ來ル、話シテ居ルト結果ニ對スル認識ハアル、之ヲヤルト壞レル、一應壞レテモ仕様ガナイ、サウ云フ問題ニ私ハ何遍モ打突ツテ、結果論的ニハ目的罪ノ成立ヲ見ルノデハナイカト云フコトヲ、屢々考ヘタコトガアルノデアリマス、恐ラクサウ云フ問題ガアルダラウト思ヒマス、内務省ノ保安課長モ御同席デアリマスガ、内務省デモサウ云フ方面ノコトヲ少シ御調査ナサルト、ソレハアルト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テハ、私ハ必ズシモ罰ヲ以テ臨ンデ戴キタイ

トハ思ヒマセヌケレドモ、唯非常ニ勝レタ地位ヲ利用シテ、其ノ椅子ニ依ツテ最モ獨善的ナ獨創的ナ、誰モ分ラヌヤウナ案ヲ行スルコトガアルノデアリマス、非常ニ神祕的ナ雰圍氣ヲ作ルノデス、俺デナクテハト云フヤウナコトデ、一舉ニ「クーデター」的ニ、モノヲ進メルヤウナコトガ場合ニ依ツテハアル、サウ云フコトハ非常ニ困ツタ結果ヲ生ムコトガアリマスカラ、此ノ點ハ十分警戒願ヒタイト思ヒマス、是ハ治安維持乃至ハ國防國家體制完成ノ見地カラ、近頃心配シテ居ル一ツノ事實、一ツノ傾向デアリマス、吾々ハ場合ニ依ツテハ官僚獨善デアルト、眞正面カラ攻撃シタコトモアリマスガ、一ツ御考慮ヲ希望シテ置キマス

○秋山政府委員 サウ云フ點ニ付キマシテモ、十分考慮致シタイト存ジマス

○猪野毛委員 一寸伺ツテ置キタイ、ウツカリシテ居ツタノデスガ、此ノ條文ヲ見ルト、斯ル國體變革ノヤウナ重要ナル法案ニ於テ、此ノ裁判ヲ普通裁判デアルヤウニ見エマスガ、サウデアリマスガ、特別裁判ニ移スノデハアリマセヌカ

○秋山政府委員 是ハ普通ノ裁判所デヤリマス

○猪野毛委員 國體變革ノヤウナ重大ナ犯罪ヲ取扱フニ付テハ、檢察モ裁判官モ餘程慎重ニヤラナクテハナラヌト思フ、普通裁判ニ移スト云フノデハ、如何ニモ其ノ取扱ヒ方ニ於テ物足りヌヤウニ思フノデアリマス、現ニ内亂罪ノ如キハ大審院ニ直グ移シマス、内亂罪デサハ特別裁判ニ移スノデス、然ルニ國體ノ變革ヲ行ハウト云フ斯ウ云フ重大ナ事犯ヲ、普通ノ地方裁判所ニ之ヲ任

セルト云フコトハ、ドウモ頗ル物足りヌヤ
ウニ思ハレマスガ、如何デアリマセウカ

○秋山政府委員 實ハ思想公判部ト云フ
ヤウナモノヲ設ケマシテ、特ニサウ云フ思
想ニ付テノ堪能ナ判檢事ヲ、ソレニ向ケテ
實際ノ公判ニ當ラスト云フヤウナ考ヘデ居
リマス、デアリマスカラサウ云フ點ニ付テ
ハ、間違ヒナイコト考ヘテ居リマス、地
方裁判所ノ判檢事ニモ、隨分若イ人デ優秀
ナモノモ居リマスシ、又思想問題ニ對シテ
確固タル信念ヲ持ツテ居ル人モ澤山居リマ
スノデ、サウ云フ人ヲ成ベク此ノ事件ノ擔
當者ニ充テヨウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リ
マス

○猪野毛委員 東京トカ所謂三府ノ地ナド
デ起ツタ事件ハ、其ノ處理ニモ都合ガ好イ
ノデスガ、邊陲ノ地ニ斯ウ云フ事件ガ起キ
ヌトモ限ラヌノデス、例ヘバ北海道トカ、
沖繩トカ、四國ナドニ起ルト云フコトモ考
ヘナクテハナラス、斯ウ云フ時ニハドウシ
マスカ、或ハ其ノ裁判官、檢事ノ入替ヲヤ
ルノデスカ、事件ヲ中央ヘ移シマスカ、ド
ウ致シマスカ

○秋山政府委員 ソレハ管轄ヲ移轉致シマ
シテ、サウ云フ公判部ノアル所ヘ持ツテ行
ツテ、審理ヲシテ貰フコトニナルト思ヒマ
ス

○猪野毛委員 サウシマス判檢事ノ再教
育ト云フテハ失禮ナ言葉カモ知レマセヌ
ガ、私ハ會テ神兵隊事件ノ公判デ熱、感ジ
タノデアリマスガ、アア云フ神兵隊ノ公判
ノ時ニハ、信念論ハ緒テ措イテ、國體ノ原
理ナドノ議論ニナルト、被告ノ方ガドウモ
裁判官ヤ檢事ヨリハ、オ師匠サンデハナイ
カト云フヤウニ、一寸感ジラレタノデス、

昭和十六年二月十六日印刷

昭和十六年二月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

從來ナラバ宜シイケレドモ、今日ハ被告ニ
ナツテ居ル者モ、此ノ國體觀念ノ信念ノ中ニ
鞏固ナ者ガアル、是ガ生命ヲ賭シテモ國家
ヲ守ル爲ニ、斯ウ云フ事件デモ内亂罪デモ
起スノダラウト思ヒマスガ、之ヲ裁ク檢事、
裁判官ノ教養ト云フモノハ——此ノ頃ハ思
想判事、檢事ガ出來テ居リマスルケレドモ、
是ハ餘程質ノ良イ者ヲ選シデ、之ヲ十分ニ
優遇モシテ、萬遺憾ナキヲ期サナクテハナ
ラスト思フ、日本ノ國柄カラ考ヘマシテ、
特ニ私ノ感ジマスルノハ、單ニ司法省トカ
裁判所バカリデハアリマセヌガ、大學ノ教
育ト云フモノハ、頗ル危險ナモノデアリマ
ス、私ノ所ニ澤山ノ材料ガアリマスガ、其ノ

最モ激シキモノハ東京帝國大學デアリマシ
テ此處デ 天皇機關説ヤ、「マルクス」ノ經濟
思想ヲ縱横ニ織込シデ、一ツノ人生觀ト言
ヒマセウカ、詰リ自己ノ信念ヲ作ツテ社會
出テ來ル、サウシテ此ノ方面ニ付テ激シイ
コトヲ言フ者ヲ秀才デアルト言ウテ、各役
所トモ重用ヲシテ來タコトハ事實デアリマ
ス、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マス、之ハ
外ノ省モ勿論斯ウ云フコトガアツテハ相成
リマセヌケレドモ、司法省ハ特ニ此ノ點ニ
付テ注意シテヤツテ戴カナケレバナラスト
思ヒマス、實ハ私共モウ少シ司法官ノ優遇
ヲシナケレバナラス、司法省ハ外ノ省ニ比
ベテ豫算ガ少イ、是デハ良イ人材モ採レヌ
ト、常ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレ
ト共ニ司法官ノヤリ方ニ、腑ニ落ちヌ點ガ
アルト、ソレガ國民ニ及ボス影響ト云フモ
ノハ非常ナモノデアリマス、ソレデアリマ
スカラ今後ニ於キマシテモ、餘程司法官ノ再
教育ヲシテ——他ニ良イ言葉ガ見付カリマ
セヌガ、之ヲ優遇スルナリ、教養ヲ新タニ

シテ、萬遺憾ナキヲ期サレタイト思フノデ
アリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ特別
裁判、詰リ大審院ナラ大審院ニ之ヲ掛ケル
ト云フ風ニ、鄭重ニスベキモノデハナイ
カト思ヒマス、地方裁判所ニ移スト、知ラス
者ハ泥棒シタ者ヤ詐欺シタ者ト一緒ニシテ
判檢事ガ裁クノデハナイカ、俗チ考ヘ方デ
アルケレドモ、知ラス者ハサウ考ヘルノガ
當然ダト思ヒマス、ソレデアアルカラ苟モ日
本ノ國柄ヲ守リ、過チヲサセヌ爲ニ、萬一
非國民ガ出テ斯ウ云フ裁判ニ掛ツテモ、國
家ノ取扱ハ斯ウデアアル、判事モ檢事モ官吏
中實ニ清淨ナル考ヘヲ持チ、學問モ人格モ
勝レテ居ル、サウシテ朝神様詣リヲシ、齋
戒沐浴シテ法廷ニ入ルノデアアル、サウ云フ
風ニ考ヘサセルヤウニ導イテ行キタイ、又
總テノ裁判ハサウ云フ風ニ、神聖ナル裁判
ヲ致サナケレバナリマセヌガ、特ニ國體ノ
變革ノ如キコトヲ企テタ者ニ對シテハ、一
層此ノ感ヲ深ク致スノデアリマス、政府當
局ノ之ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマ
ス

○秋山政府委員 御意見ハ全然同感デゴザ
イマス、司法官トシテノ心構ヘニ付キマシ
テ、只今段々ノ話ガアリマシタガ、全ク其
ノ通りデゴザイマス、殊ニ思想事件ノ審判
ニ當リマス判檢事ト云フモノハ、特ニ信念
ノ確乎タル人デナケレバナラナイト云コ
トハ、私共モ痛感致シテ居リマスルノデ、
今回思想公判部ト云フモノヲ設ケヨウト云
フコトニ考ヘテ參ツタ譯デアリマス、判檢
事ノ再教育ノコトモ御話ガアリマシタガ、
是モ現在司法研究所ト云フモノガ設ケラレ
テ居リマシテ、始終此ノ研究所ニ相當ノ期
間招集致シマシテ、再教育ノ實ヲ擧ゲテ居

リマス、此ノ法律ガ成立致シマスレバ、之
ヲ機會ニ尙ホ思想問題等ニ付キマシテハ、
特ニ十分ナル教養ヲ致スヤウニセナケレバ
ナラスト考ヘテ居リマス

○世耕委員 思想對策ニ付テ、内務省、司
法省、文部省ト連絡會議ノ何方委員會制度
ガアツタヤウニ思ヒマスガ、ソレハドウ云
フコトニナツテ居リマスカ

○秋山政府委員 文部省ニ思想對策委員會
ト云フモノガアリマシテ、ソレデ連絡ヲ執
ツテ居ル譯デアリマス

○服部委員長 ソレデハ明後日ハ午前十時
ヨリ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シ
マス

午後四時四十分散會